

西新宿スマートシティプロジェクト

～「つながる街」西新宿を目指して～

令和3年度 第4回協議会

2022年3月29日
(11：00～12：00)

議事次第

議事次第

- | | |
|---|------------------|
| 1. 開会の挨拶（宮坂副知事）※ビデオメッセージ | 《挨拶3分、説明2分－累計5分》 |
| 2. 協議会参加者紹介 | 《説明1分－累計6分》 |
| 3. 協議会の進め方・スケジュールの確認・新規プロジェクトの承認 | 《説明4分－累計10分》 |
| 4. 【広報・巻き込みTF】
広報・巻き込みの取組結果・来年度の取組方針の報告 | 《説明8分－累計18分》 |
| 5. 【課題解決PT・都市OS検討PT】
各テーマの取組結果・来年度の取組方針の報告 | 《説明15分－累計33分》 |
| 6. 【仮説検証PT】
課題調査結果・来年度の取組方針の報告 | 《説明10分－累計43分》 |
| 7. 報告サマリ・意見交換 | 《質疑15分－累計58分》 |
| 8. 閉会の挨拶 | 《挨拶2分－累計60分》 |

1. 開会の挨拶

議事次第

目的

- 西新宿スマートシティ協議会における各取組の結果を確認すること
- 新規プロジェクトを確認し、承認いただくこと
- 来年度の取組方針を確認すること

議事次第

1. 開会の挨拶（宮坂副知事）※ビデオメッセージ 《挨拶3分、説明2分－累計5分》
2. 協議会参加者紹介 《説明1分－累計6分》
3. 協議会の進め方・スケジュールの確認・新規プロジェクトの承認 《説明4分－累計10分》
4. 【広報・巻き込みTF】
広報・巻き込みの取組結果・来年度の取組方針の報告 《説明8分－累計18分》
5. 【課題解決PT・都市OS検討PT】
各テーマの取組結果・来年度の取組方針の報告 《説明15分－累計33分》
6. 【仮説検証PT】
課題調査結果・来年度の取組方針の報告 《説明10分－累計43分》
7. 報告サマリ・意見交換 《質疑15分－累計58分》
8. 閉会の挨拶 《挨拶2分－累計60分》

2. 協議会参加者紹介

3. 協議会の進め方・スケジュールの確認・ 新規プロジェクトの承認

西新宿スマートシティ協議会の概要：背景

スマート東京先行実施エリアとして西新宿のスマートシティ化を推進

世界をリードする東京実現に向けたビジョン

デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」（東京版Society5.0）

「電波の道」で、いつでも、誰でも、
どこでも「つながる東京」を実現する

データ共有と活用の仕組みをつくり、
行政サービスの質を向上させる

行政のデジタルトランスフォーメーションを強力に進める

セーフシティ

ダイバーシティ

スマートシティ

※QOL：Quality of Life（生活の質）

「スマート東京」先行実施エリア（5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装）

西新宿※



都心部



ベイエリア



南大沢（東京都立大学）※



島しょ地域



※TOKYO Data Highway重点整備エリア

出所：「未来の東京」戦略

西新宿スマートシティ協議会の概要：目的・運営方針

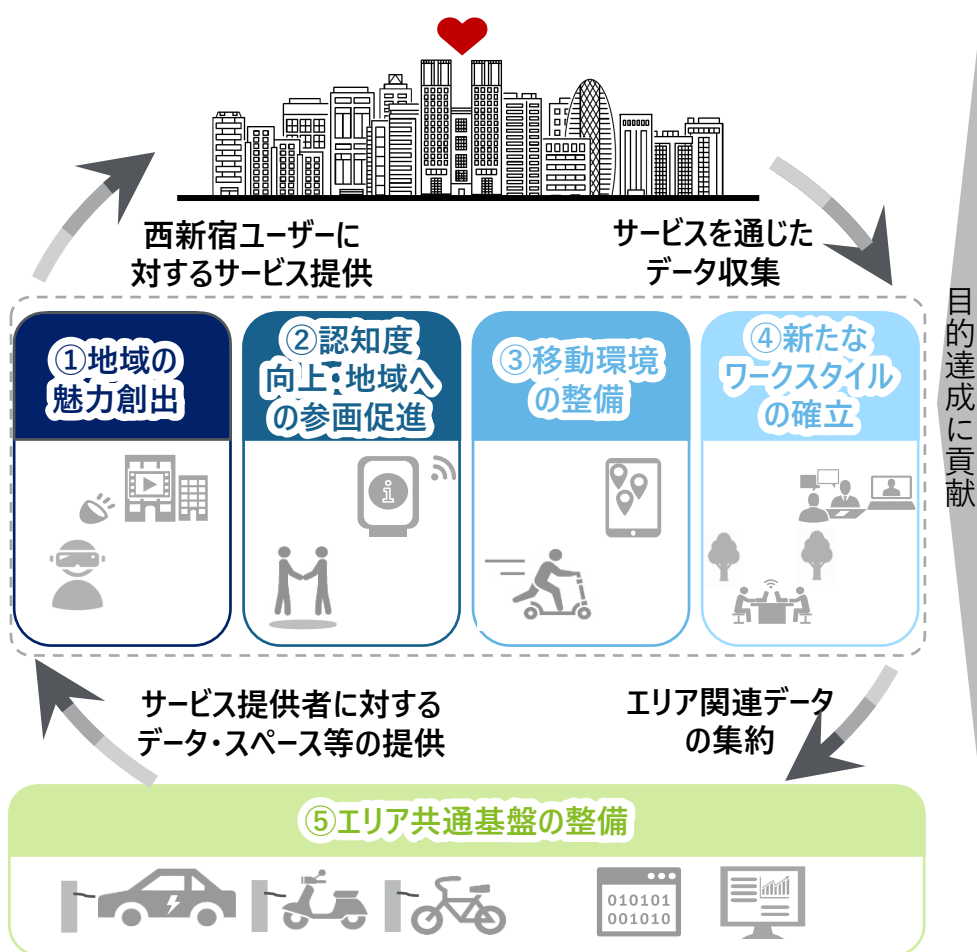
協議会の組織としての将来像、使命、価値観を設定し、目的達成に貢献

協議会が西新宿エリアで実施する取組

協議会の運営方針

協議会の
目的

デジタル技術を活用することで人と人、人と都市をつなげ、西新宿に関わる人のQOL向上に貢献



VISION

西新宿スマートシティ協議会の
(組織としての) 将来像 (状態)

目指す姿の実現に向けた課題解決に資する、
“デジタル技術を活用したアイデア・サービス
が継続的に創出されるモデル”を確立していること
※目指す姿や課題は常にアップデートする

公共性を有し、未来への投資ができる行政
が主体的に関与するプロジェクトとしての特徴

MISSION

西新宿スマートシティ協議会が果たすべき使命

エリアのQOL向上のため
誰もが失敗を恐れずスピード感を持って挑戦できる
環境を作り上げること
※価値ある失敗を生むことも重要 (アジャイル思考)

VALUE

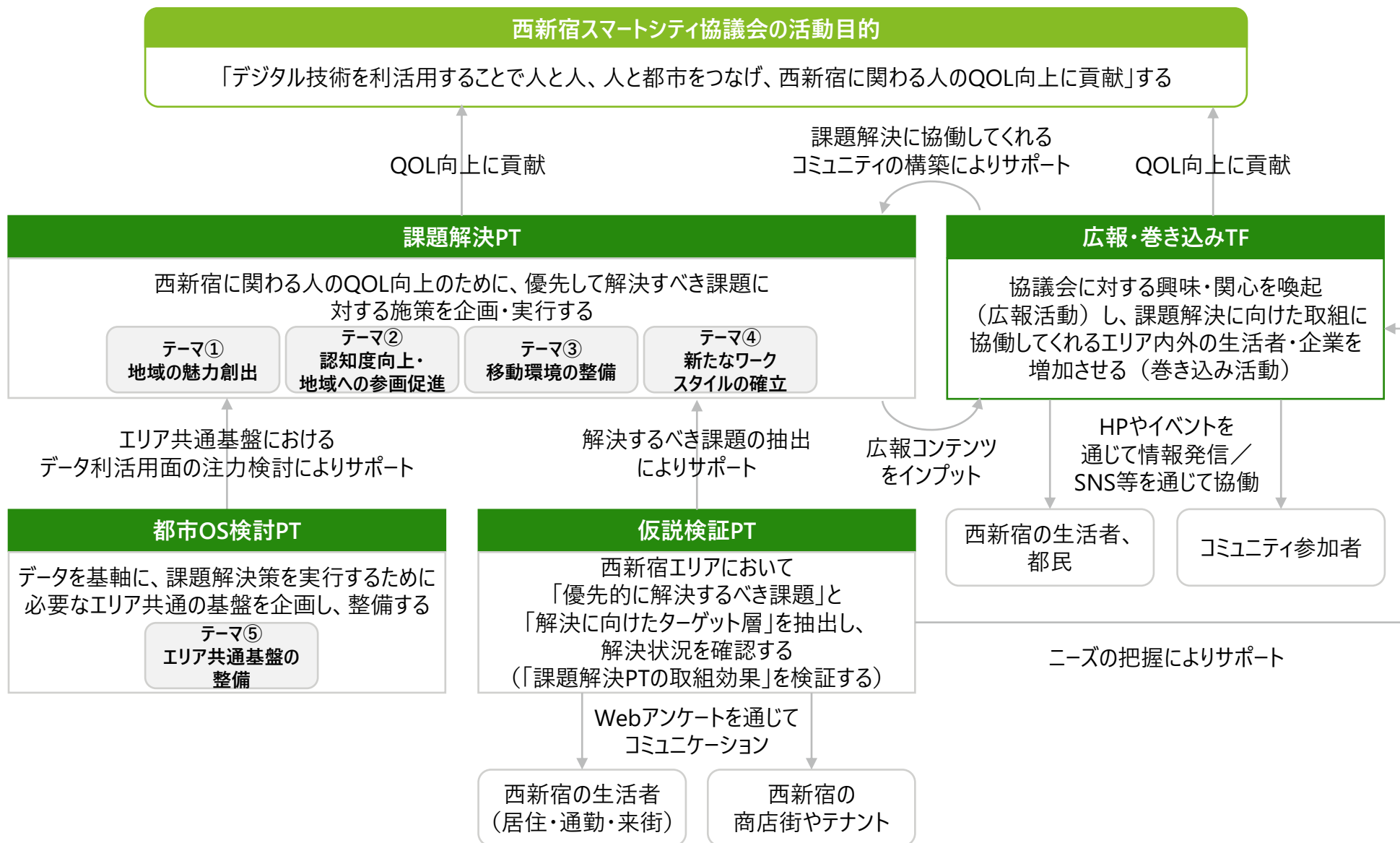
使命を果たす上で、西新宿スマートシティ協議会が
大事にする価値観

エリア内外の官民多業種の組織・団体や、
多様な個人が有機的に繋がり、互いの強みを
活かしかうこと

多様な民間が連携するエリアとしての特徴

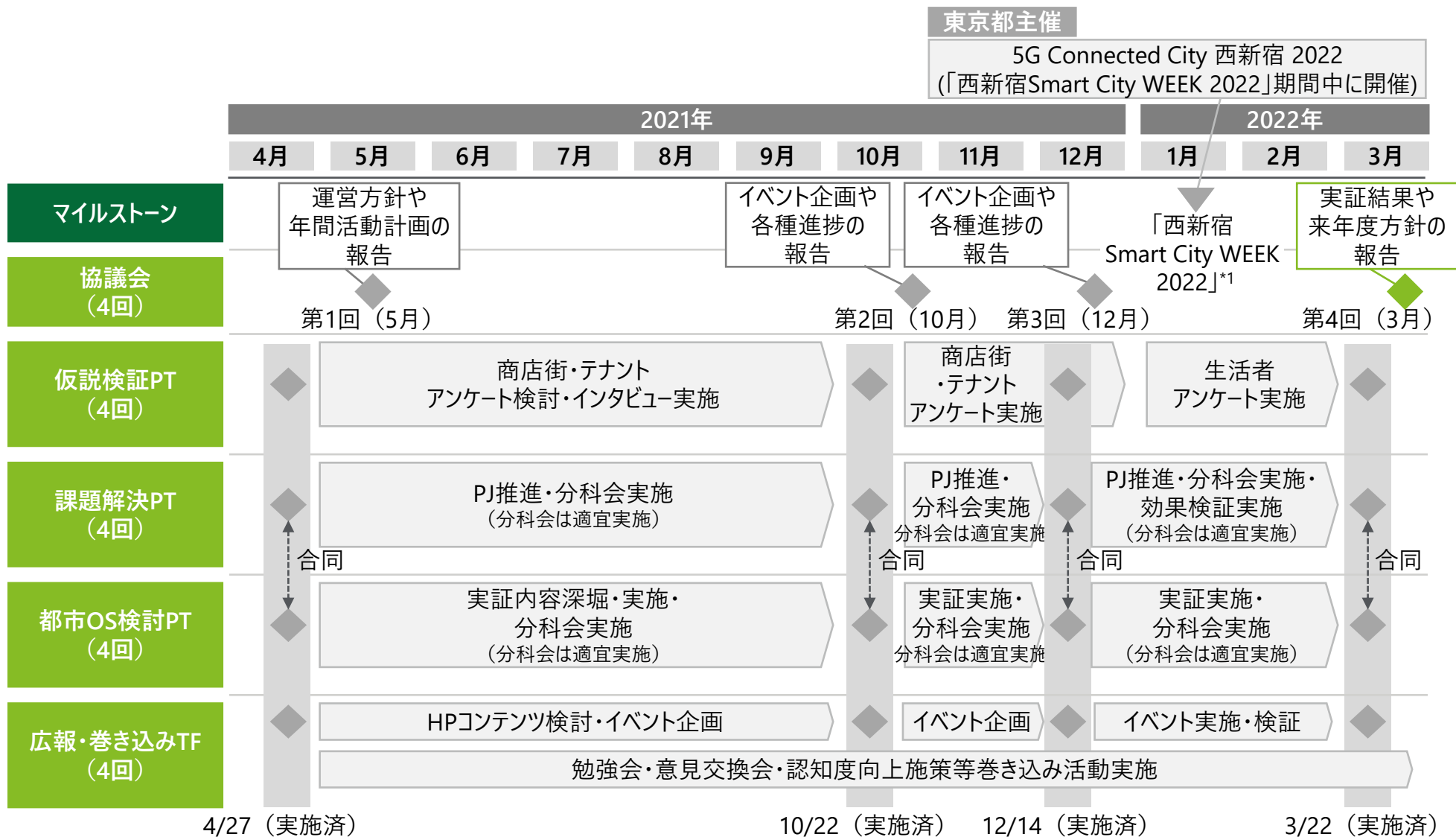
協議会における各PT/TFの位置づけ

協議会の目的達成に向け、課題解決策の推進や広報活動を通じた機運醸成を図る



R3年度会議体実施スケジュール全体像

本日は、各PT/TFの取組結果と来年度方針について報告



*1： COVID-19の状況を鑑みて開催時期を11月から変更。合わせてその他スケジュールも変更

新規プロジェクトの承認

新規の中長期プロジェクト募集を行い、事務局にて1件のプロジェクト候補を選定

対象とする課題解決テーマ概要	プロジェクトリーダー	プロジェクト名	プロジェクト概要
②認知度向上・地域への参画促進 西新宿の課題 - 友人や知人との交流機会の提供 - 友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成 - 西新宿エリア全体での統一的な情報の発信 - 他エリアと比べて特徴的なまちのブランドイメージ確立 2～3年後に実現される状態 個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人與人」「人と都市」がつながれる状態	新規プロジェクト候補	株式会社 レスター エレクトロニクス  株式会社レスターエレクトロニクス	■ 西新宿エリアの様々な建物内に設置され、ルートやイベントを案内、その場を利用するユーザーの声を収集するタッチポイントとして街の進化、改善に繋がるキャラクター・インターフェイスを提供 無人対話型受付案内プロジェクト  サインージ型受付案内イメージ

西新宿エリアの課題解決に向け、1件のプロジェクトが新たに参加することをご承認頂きたい

【テーマ②：認知度向上・地域への参画促進】

無人対話型受付案内プロジェクト（株式会社レスターエレクトロニクス）

テーマ
②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題
・西新宿エリア全体での統一的な情報の発信 ・他エリアとして比して特徴的なまちのブランドイメージ確立

2-3年後に目指す姿
非対面・非接触でも人間らしい豊かなコミュニケーションを通して「人と都市」が繋がり、都市はリアルタイムに人の声を集積し、より良い環境に常にアップデートを重ね、住民の幸福度が上がっていく状態

プロジェクト参加者・役割
・株式会社レスターエレクトロニクス（プロジェクトリード） - アセスメント、KPI策定、PoC実施 ・株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ（アプリケーション開発）

施策概要
西新宿エリアの様々な建物内に設置され、ルートやイベントを案内、その場を利用するユーザーの声を収集するタッチポイントとして街の進化、改善に繋がるキャラクター・インターフェイスとなります。

3か年計画	
1年目	■ ランドマーク拠点での受付案内のPoC実施、レポート ■ 対話型サービスの体験を通じた認知
2年目	■ 対話型案内のブラッシュアップ ■ ユーザーの声の収集と可視化
3年目	■ パーソナルデバイス、AR、MR、XR、メタバース(VR)の案内人としてプラットフォームに対話ログを収集。より自然で豊かなコミュニケーションを追求し、西新宿で親しまれるアイコンキャラクター・インターフェイスとなる

想定KPI
■ 有人案内の省人化 ■ 非接触・非対面の対話案内（ユーザーの問い合わせ完遂vs離脱率） ■ 対話ログによるその時々々の周囲環境への反応収集と施策への反映

R3年度以降の協議会メンバーの種別及び参加までの流れ

参加プロセスを通じて、オブザーバーが新たに協議会に参加することをご承認頂きたい

	種別		オブザーバー参加までの流れ			
	構成員	オブザーバー	プロセス	時期・頻度	主体者	アクション
参画基準	西新宿スマートシティ協議会の設置要綱に定められた構成員であること	- 協議会の目的を理解し、目的達成に向けた取組を行うものであること - 課題解決PJのリーダー/参加者であること - 構成員の承認を得られていること	入会申請	■ 適宜	■ PJリーダー	■ 事務局に対してPJ参加者の入会を申請
			案内	■ 適宜	■ 事務局	■ 事務局からSlackと合わせて案内
			事前確認	■ 四半期に1回以上	■ PTメンバー	■ 事務局で確認後、課題解決PTで事務局が報告
			承認	■ 四半期に1回	■ 協議会構成員	■ 協議会で事務局が構成員に共有し、協議会構成員全員の合意を得て承認
関与方法	- 協議会に参加 - 各種PT/TFに必要な応じて参加 - PJリーダー/参加者として必要に応じてPJに参加	- 協議会にオブザーバー参加 - 課題解決・都市OS検討PTに参加 - PJリーダー/参加者として課題解決PJに参加	退会申請	■ 適宜	■ PJリーダー	■ 事務局に対してPJ参加者の退会を申請
			退会	■ 四半期に1回以上	■ 協議会構成員	■ 事務局内で確認後、協議会に報告 ※ PJ終了時は退会し、協議会に報告
協議会での役割	- 協議会の意思決定に関与する - 西新宿スマートシティプロジェクトの検討・推進全般に関する意見を述べる	専門的な知見や技術等に関する意見を述べる	オブザーバーが新たに協議会に参加することをご承認頂きたい			

4.【広報・巻き込みTF】

広報・巻き込み活動の取組結果、 来年度の取組方針の報告

広報・巻き込みTFの実施方針

「西新宿Smart City WEEK 2022」、広報・巻き込み活動の結果と来年度方針案を報告

ミッション	■ 西新宿スマートシティ協議会の取組に協働してくれる個人・企業との繋がりをつくり、コミュニティ化すること ■ 西新宿スマートシティ協議会の方針に共感し、主体的に取組を企画・実行してくれる個人・企業を増やすこと ■ 今年度は「西新宿Smart City WEEK 2022」をマイルストーンとし、協議会の取組を広報すること
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー
実施事項	■ 広報・巻き込み活動： ➢ イベントや認知度向上施策を通じた情報発信や巻き込み、コミュニティとの意見交換会・勉強会の実施 ➢ 公式ホームページ（以降、「HP」と記載）、LINE公式アカウントを通じた情報発信

スケジュール ・主な アジェンダ	4月	協議会 (第1回)	10月	協議会 (第2回)	12月	協議会 (第3回)	西新宿 Smart City WEEK 2022	3月	協議会 (第4回)
	■ 年間スケジュール案の共有 ■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」やコミュニティとの意見交換会等の企画に関する意見交換		■ 勉強会・意見交換会の実施状況共有 ■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」の企画状況共有 ■ HP更新等の広報活動の状況共有		■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」の企画状況共有 ■ 広報・巻き込み活動状況共有（意見交換会、勉強会、HP・LINE等）		■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」の実施結果共有 ■ 広報・巻き込み活動の結果共有（意見交換会、勉強会、HP・LINE等） ■ 来年度方針案の共有		

本日まで報告

広報・巻き込み活動（全体像）

西新宿エリアの取組に対する認知・関心を高め、熱量の高いコミュニティ形成を推進した

協議会への巻き込み等に関する企画

- 西新宿全体の取組をまとめるイベントや、PT/TFメンバー・コミュニティ参加者の理解深化・参画を促進する勉強会等の新たなイベントの実施を検討

西新宿 Smart City WEEK 2022

- PTの取組や既存イベント等を同時期に集中させたイベントとして実施

認知度向上施策

- スマートシティをテーマとしたクロストークを実施

理解を深められる機会

意見交換会

- コミュニティメンバーに西新宿の課題や取組内容を共有し、取組に関する意見交換を実施

理解を深められる機会

意見が反映される機会

交流できる機会

勉強会 ※PTメンバー向け

- PTメンバーを対象とした特定のテーマに関する勉強会を実施



公式ホームページでの情報発信等

- R2年度に構築した公式ホームページにおいて、既存コンテンツの更新及び新規コンテンツの追加を行い、西新宿の各種取組に関する情報発信を実施

お知らせや実証等ページでの
情報発信

VOICEやLINE公式アカウントの
紹介を通じた巻き込み

LINE公式アカウントでの情報発信等

- R2年度に構築したLINE公式アカウントの登録者（コミュニティ参加者）に対し、西新宿の情報発信やVOICE等の実施を通じた巻き込み施策を実施

西新宿の取組に関する
新着情報の発信

コミュニティメンバーへの
VOICE・アンケートの実施

広報・巻き込み活動の取組結果

今年度の活動サマリ（2022年3月11日時点）

ホームページ・LINE等を通じた広報活動や協議会への巻き込み活動を実施した

分類	今年度の活動実績	
西新宿 Smart City WEEK 2022	ページビュー数・訪問ユーザー数累計*1、2	記事投稿数*1
	18,247 PV 3,795 UU	26 件
認知度向上施策 (クロストーク)	視聴数累計*3	アーカイブ配信日数*3
	1,004 回	45 日
意見交換会	延べ参加人数	開催回数
	47 人 (内、Pre意見交換会 25人)	2 回 (内、Pre意見交換会 1回)
勉強会 ※PTメンバー向け	延べ参加人数	開催回数
	139 人	6 回 (内、1回は3/30実施予定)
公式ホームページ	ページビュー数・訪問ユーザー数累計*2、4、5	お知らせ投稿数*4
	28,715 PV (R2年度：9,159PV) 8,947 UU (R2年度：3,466UU)	25 件 (内、2件は投稿予定) (R2年度：16件)
LINE公式アカウント	友だち数*4、6	投稿数*4
	756 人 (R2年度：491人)	32 件 (内、2件は投稿予定) (R2年度：17件)
VOICE	延べ参加人数*4	実施回数*4
	156 人 (R2年度：115人)	3 回 (R2年度：2回)

*1：西新宿SCWのHP開設（2021年12月24日）以降の累計値

*2：ユニークユーザー（ウェブサイト訪問ユーザー数。同一ユーザーの訪問は1UUとしてカウント）Google アナリティクス「ユニバーサル アナリティクス」による集計

*3：動画公開（2022年1月23日）から3月17日までの累計値 *4：HP・LINE開設日：2020年10月19日 *5：8/19（木）以前分はbot等によるアクセス数（異常値）を含む

*6：友だち数（ターゲットリーチ数）＝（登録者数－ブロック数－属性不明者数）

「西新宿Smart City WEEK 2022」の開催概要（1/2）

実証やイベントを同時期に集中させることでインパクトを創出し、個人や企業への訴求を狙う

実施内容

- デジタル技術を活用した協議会の課題解決プロジェクト、都の実証事業、イベントなど、西新宿で同時期に行われている事業を1つのイベントに見立てて、未来の当たり前を体感いただく

目的

- 取組に対する認知・関心を高め、参画を促すこと
- 企業間の連携強化を図ること、企業参画を促すこと

対象

- 西新宿の生活者（居住者、通勤者、来街者）、都民
- 西新宿での取組に関心のある企業

日程

- 2022年1月14日（金）～1月31日（月）

実施方法

- 西新宿で行われるプロジェクト、実証事業等の体験・参加(オフライン)
- 一部オンライン配信

主催

- 西新宿スマートシティ協議会



「西新宿Smart City WEEK 2022」の開催概要（2/2）

コンテンツを分かりやすい4つのカテゴリーに分類し、具体的な体験・参加イメージを抱かせる



都民



西新宿の生活者
(居住者、通勤者、来街者)



西新宿での取組に
関心のある企業



未来の当たり前に触れられる18日間を通じて
取組への認知・関心の高まりと企業間の連携強化を図ることで更なる参画を促す

見てみよう

クロストーク
西新宿スマートシティ化
についてのトーク



西新宿3D都市モデル
地上空間を細部まで
再現した3Dマップ



乗ってみよう

自動運転サービス
自動運転タクシー
自動運転バスの実証



シェアサイクルポート
シェアサイクルの
共通ポート実証



西新宿
Smart City WEEK
2022

2022.1.14(金)～31(月)

オフラインにて実施
(一部オンライン配信)

使ってみよう

ARガイド
ARによるエリア内の
ルート案内実証



スマートシティカレンダー
多様な情報を集約した
Webカレンダー



探してみよう

スマートポール
5G通信と
セキュアWiFiの提供



スマートサイネージ
サイネージでの
エリア情報の発信



既存取り組みや課題解決プロジェクト間の連携を図りながら
実証やイベント等を同時期に集中させることでインパクトを創出

主催：西新宿スマートシティ協議会

「西新宿Smart City WEEK 2022」のコンテンツ一覧

「西新宿Smart City WEEK 2022」では4つのカテゴリで計19のコンテンツを紹介

凡例  : 西新宿スマートシティ協議会の中長期プロジェクトによる取組

カテゴリ	#	主な実施者	コンテンツ名	内容
 見てみよう	1	西新宿スマートシティ協議会	クロストーク	西新宿スマートシティ協議会の取組紹介とクロストーク
	2	東京都・環境改善委員会	西新宿版3D都市モデル	西新宿の有効空地や立体交差する道路などを再現したデジタルマップ
	3	NTT東日本	日本舞踊ワークショップ	日本舞踊を通じた和の再発見
	4	NTT東日本	ウォーキングコミュニティ	ウォーキングによるまちの再発見
	5	KDDI総研・KDDI・大成建設	5G×屋外ワークスペース	XR等を活用した新たなワークスペースの設置
	6	ティアフォー・損保ジャパン・小田急電鉄	自動配送ロボ	自動配送ロボによるラストワンマイルのモノ・サービスの配送実証
	7	小田急電鉄	AR郷土玩具店	AR技術による九州各地より集まった郷土玩具の紹介
	8	NH研究所	自動追従パレット Furiuri	自動走行パレットを活用したプラットフォームサービス
 乗ってみよう	9	損保ジャパン・大成建設・KDDI	自動運転タクシー	新宿駅を起点とした自動運転タクシー実証
	10	京王電鉄バス	自動運転バス	新宿駅と都庁を巡回する自動運転バス実証
	11	ドコモバイクシェア・OpenStreet・Luup	シェアサイクルポート	シェアサイクルの共通ポート実証
 使ってみよう	12	ジョルテ	スマートシティカレンダー	イベント等の情報が集約されたWeb版スマートシティカレンダー
	13	ビーブリッジ	ARガイド	5G × ARの先端技術を活用した新たな移動体験サービス
	14	Fullon	人流解析	ヒト検知AIと非GPSロケーションサービスによる混雑情報可視化
	15	ジョルダン	混雑配信・ナビ等	飲食店混雑確認、オンライン注文、ARナビ等を搭載したアプリ
	16	シスコシステムズ	セキュア公衆WiFi	セキュアかつストレスフリーなWi-Fiサービス
 探してみよう	17	JTOWER	スマートポール	5G通信・Wi-Fiの提供とサイネージでの気象環境データ等の可視化
	18	東電・住商・NEC・パナソニック	スマートポール	5G通信の提供とサイネージを活用したエリア情報の発信
—	19	東京都	5G Connected City	5Gや先端技術を活用したサービスを体験するイベント

「西新宿Smart City WEEK 2022」特設ホームページ

スマホでの閲覧も考慮したランディングページで、Smart City WEEKの情報を体系的に発信

掲載項目

トップページ

- 「西新宿Smart City WEEK 2022」のイメージを表したイラストを掲載



カレンダー

- 日程別にコンテンツを掲載



イベント概要

- 「西新宿Smart City WEEK 2022」の目的や取組内容をテキストとイメージ動画で紹介



LINE案内

- 西新宿スマートシティ協議会のLINE案内を掲載



お知らせ

- 各コンテンツに関する最新情報やコラムを掲載



キャラクター

- イメージキャラクターとLINEスタンプの紹介



コンテンツ

- 19のコンテンツを4つのカテゴリーに分類し掲載
 - 詳細は各コンテンツの個別ページに掲載



参加企業

- 事業者・団体名とロゴを掲載

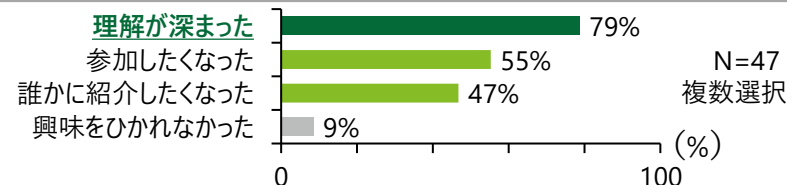


「西新宿Smart City WEEK 2022」の実施結果

協議会の取組についての理解促進に加え、配信コンテンツについての高い満足度を得た

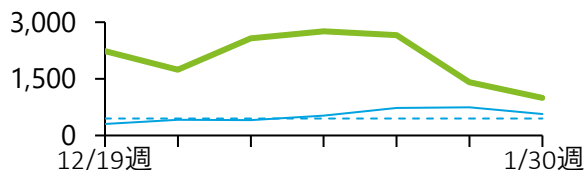
全体サマリ

- 「西新宿Smart City WEEK 2022」の認知メンバーの大部分（79%）に対して、協議会の取組に対する理解を更に深めることができた
- 参加企業・団体の連携により計19のコンテンツを同時期に行うことで、外部に対する効果的な情報発信を行うことができた

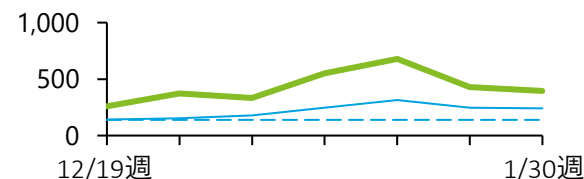


ホームページ配信

< ページビュー数 (PV) >



< 訪問ユーザー数 (UU) >



- SCW HPのアクセス数は高い水準を記録（協議会HP平時*1の約2.6倍）
- 期間中の協議会HPへのユーザー数も増加（協議会HP平時*1の約1.4倍）

認知度向上施策（クロストーク）

< 主な実績 >

- 1,000回を超える再生数を獲得

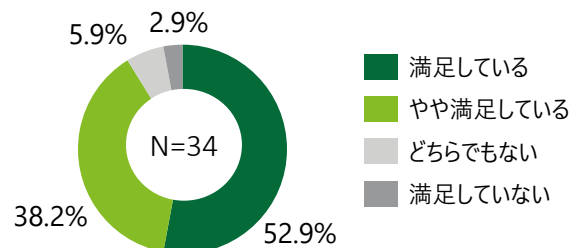
【動画再生数】：1,004回*2

【事前LINEアンケート回答数】：32件
（「未来の西新宿」について）



< 視聴者満足度 >

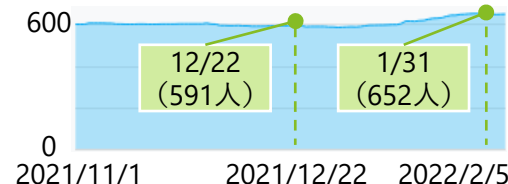
- 視聴者の大部分に内容を満足いただいた



LINE公式アカウント

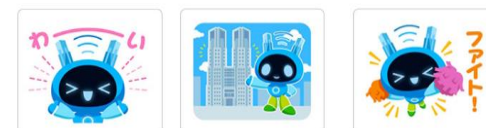
< 友だち数*3、4 >

- 友だち数は61人増加し、一定数のコミュニティ人数増加に貢献できた（年間増加数*5：265人）



< LINEスタンプ >

- 環境改善委員会が作成した公式キャラクター「スマシー」のLINEスタンプのダウンロード数は58件となり、認知度向上に寄与した



*1：週当たり訪問ユーザー数の比較。協議会HP平時（2021年11月）のアクセス数は447PV/週・141UU/週 Google アナリティクス「ユニバーサル アナリティクス」による集計
新宿SCW期間（2022年1月14～31日）を含む協議会HPアクセス数は560PV/週・193UU/週、西新宿SCW HPのアクセス数は2,059PV/週・360UU/週

*2：2022年3月17日時点の再生回数 *3：友だち数（ターゲットリーチ数）＝（登録者数－ブロック数－属性不明者数）

*4：SCWのHP開設直前（2021年12月22日）からSCW最終日（2022年1月31日）までの変動値 *5：2021年4月1日から2022年3月11日までの累計値

Pre意見交換会・意見交換会の実施結果

コミュニティメンバーの意見をプロジェクトに反映することを目的に意見交換会を開催

Pre意見交換会（PT/TFメンバー向け）

Candle Night @ Shinjuku Central Park 2021について

【日時】2021年9月27日（月）17:00～18:00

【主催】小田急電鉄

【参加者】PT/TFメンバー

【場所】オンライン（Zoom）

【概要】イベント概要の紹介とにぎわい向上に向けた討議



Zoomでの資料共有・意見交換

意見交換会

Candle Night @ Shinjuku Central Park 2021のご紹介

【日時】2021年11月17日（水）18:00～19:30

【主催】小田急電鉄

【参加者】コミュニティメンバー、工学院大学、小田急電鉄、事務局

【場所】新宿駅西口周辺の会議室

【概要】Candle Nightを盛り上げるための取組案についての討議



意見交換会の様子

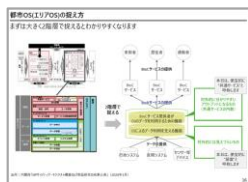
勉強会の実施結果

PTメンバー間の知見の共有を目的として、勉強会をオンラインにて計6回開催

勉強会（第1回）

都市OS／エリアOSの在り方について

- 【日時】2021年5月27日
 【主催】デロイト トーマツ コンサルティング
 【概要】まちづくりにおける都市OSの意義と事例紹介



Zoomでの意見交換

勉強会（第2回）

スマートポールをみんなで使い倒そう！

- 【日時】2021年7月29日
 【主催】東京都
 【概要】スマートポールの概要紹介と活用方法の討議



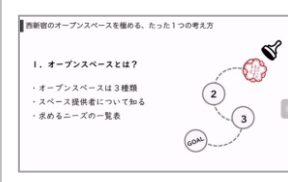
Zoomでの意見交換

勉強会（第3回）

オープンスペースを使う

～西新宿のオープンスペースを極める、たったひとつの考え方～

- 【日時】2021年9月29日
 【主催】環境改善委員会
 【概要】オープンスペースの利用実態とエリアOS構築の意義



Zoomでの意見交換

勉強会（第4回）

サーキュラーエコノミー（循環型社会）実現に向けたビジネスへの挑戦

- 【日時】2021年12月9日
 【主催】小田急電鉄
 【概要】資源・廃棄物の安定処理のための、収集運搬の効率化と資源循環につながるサービスの紹介



Zoomでの意見交換

勉強会（第5回）

地域住民の参加による、Well-beingと持続可能なまちづくりについて

- 【日時】2022年2月9日
 【主催】ジョルテ、ソニーマーケティング
 【概要】「ヒト・モノ・コト」のリンクによる地方創生事例の紹介と西新宿での活用方法の討議



Zoomでの意見交換

勉強会（第6回）

自動運転とリスク・賠償責任について

- 【日時】2022年3月30日（予定）
 【主催】損保ジャパン
 【概要】西新宿で実施した自動運転実証と、自動運転に係るリスクや賠償責任の紹介

HP・LINEの活用結果

西新宿の取組と活動実績の発信により認知拡大と本活動への巻き込みを推進

目的

西新宿エリアの関係者や都民に、協議会及び各PTの活動を広く知ってもらうこと、また本活動へ巻き込むことを目的として、ホームページやLINE公式アカウントを通じた情報発信や施策を行う

西新宿スマートシティ協議会公式ホームページ

情報発信、HP更新状況

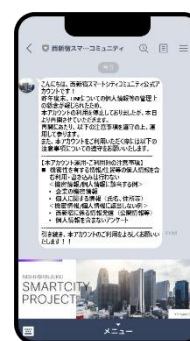
- お知らせ：25 件投稿（内、2件予定）
 - 課題解決プロジェクトの取組紹介・新規募集
 - Smart City WEEKの紹介
 - 協議会資料の掲載
 - 協議会ホームページの更新
 - 西新宿における東京都事業の紹介
- ホームページの改修
 - PROJECT・PoCパートの年度・テーマ別整理
 - 各プロジェクトのページ構築



LINE公式アカウント

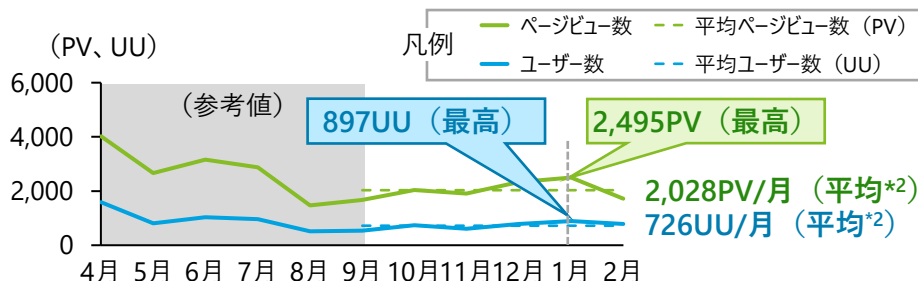
情報発信・活用状況

- 毎週水曜日を目処にコンテンツを配信
 - 全体発信回数：32回（うち2回予定）
 - ・ お知らせ配信：29回
 - ・ VOICE：3回
- その他活用状況
 - 西新宿の課題解決に向けた取り組み全般に関する効果検証アンケートを配信（2月）



ページビュー数、訪問ユーザー数*1（月累計*2）

- ページビュー数、訪問ユーザー数ともに、Smart City WEEKを開催した2022年1月に最多アクセス数を記録

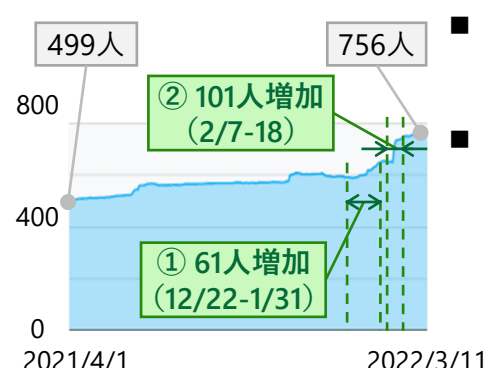


*1：ユニークユーザー（集計期間内のウェブサイト訪問ユーザー数。期間内の同一ユーザーの訪問は1UUとしてカウント）Google アナリティクス「ユニバーサル アナリティクス」による集計

*2：4～8月はbotによるアクセス数が含まれていたため参考値として掲載。平均値は9月以降の値を用いて算出

*3：友だち数（ターゲットリーチ数）＝（登録者数－ブロック数－属性不明者数）

友だち数*3



- LINE公式アカウントの友だち数は今年度も増加しており、756人（2022/3/11時点）
- 今年度は257人（約1.5倍）増加
 - ① Smart City WEEK：61人増加（告知期間含む）
 - ② 課題把握アンケート：101人増加（LINE配信時にQRコードを添付）

来年度の取組方針

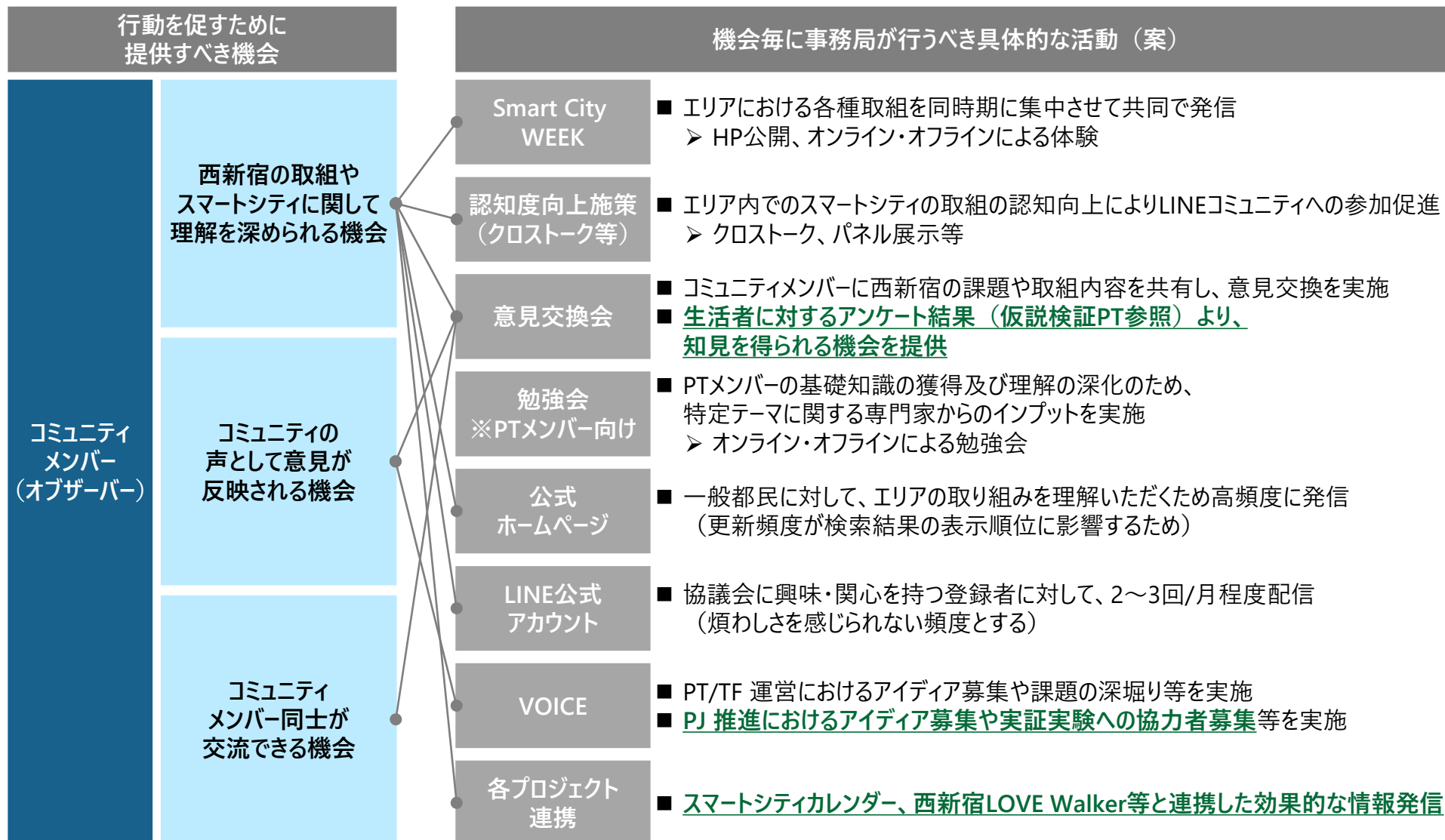
今年度の取組結果と来年度の方針（案）

来年度は、都民・西新宿生活者に加え、コミュニティメンバーへの訴求に注力予定

効果的な活動	ユーザー分類	行動を促すために提供すべき機会	今年度の取組結果		来年度の方針（案）
広報 ↑	都民	■ スマート東京のビジョンや先行実施エリア、各エリアの概要を知る機会	オンライン ■ 協議会HP等における取組内容の発信 ■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」の開催、クロストークの実施 ■ スマートシティ連絡会	オフライン ■ 西新宿Smart City WEEK 2022」の開催で一部実施	来年度も継続して実施（東京都HPや他事業HPと協力）
	西新宿の生活者（居住者、通勤者、来街者）	■ 西新宿スマートシティプロジェクトの目指す姿や体制を知る機会 ■ 同プロジェクトの実証や巻き込み活動等の取組内容を知り、コミュニティに参加するメリットを感じられる機会	オンライン ■ 協議会HPにおける取組内容の発信 ■ 「西新宿Smart City WEEK 2022」の開催、クロストークの実施	オフライン ■ 西新宿のビル・施設等におけるチラシ配布 ■ 西新宿のサイネージ等における配信	来年度も継続して実施（HPやLINE、普及啓発・体験イベント等）
	コミュニティメンバー（オブザーバー）	■ 西新宿の取組やスマートシティに関して理解を深められる機会 ■ コミュニティの声として意見を届ける機会 ■ コミュニティメンバー同士が交流できる機会	オンライン ■ LINEにおける取組内容の発信 ■ VOICEによるアンケートの実施	オフライン ■ 意見交換会の開催	来年度も継続して注力 次頁詳細
	コミュニティメンバー（主体者・インフルエンサー）	■ イベント等で自身の活動を発信する機会 ■ 活動の企画に際して活動場所やメンバーを獲得する機会 ■ 継続的な活動を通じてインセンティブを獲得する機会	オンライン — （新型コロナウィルスの影響により活動が限定されたため実施に至らず）	オフライン — （新型コロナウィルスの影響により活動が限定されたため実施に至らず）	主体者・インフルエンサーが増え次第実施
最終的な目標 ↓ 巻き込み					

コミュニティメンバーに対する具体的な活動（案）

今年度の取組を継続しつつ、意見交換会やVOICE、中長期PJ連携を効果的に活用



5.【課題解決PT・都市OS検討PT】 各テーマの取組結果・来年度の取組方針の報告

課題解決PT・都市OS検討PTの実施方針

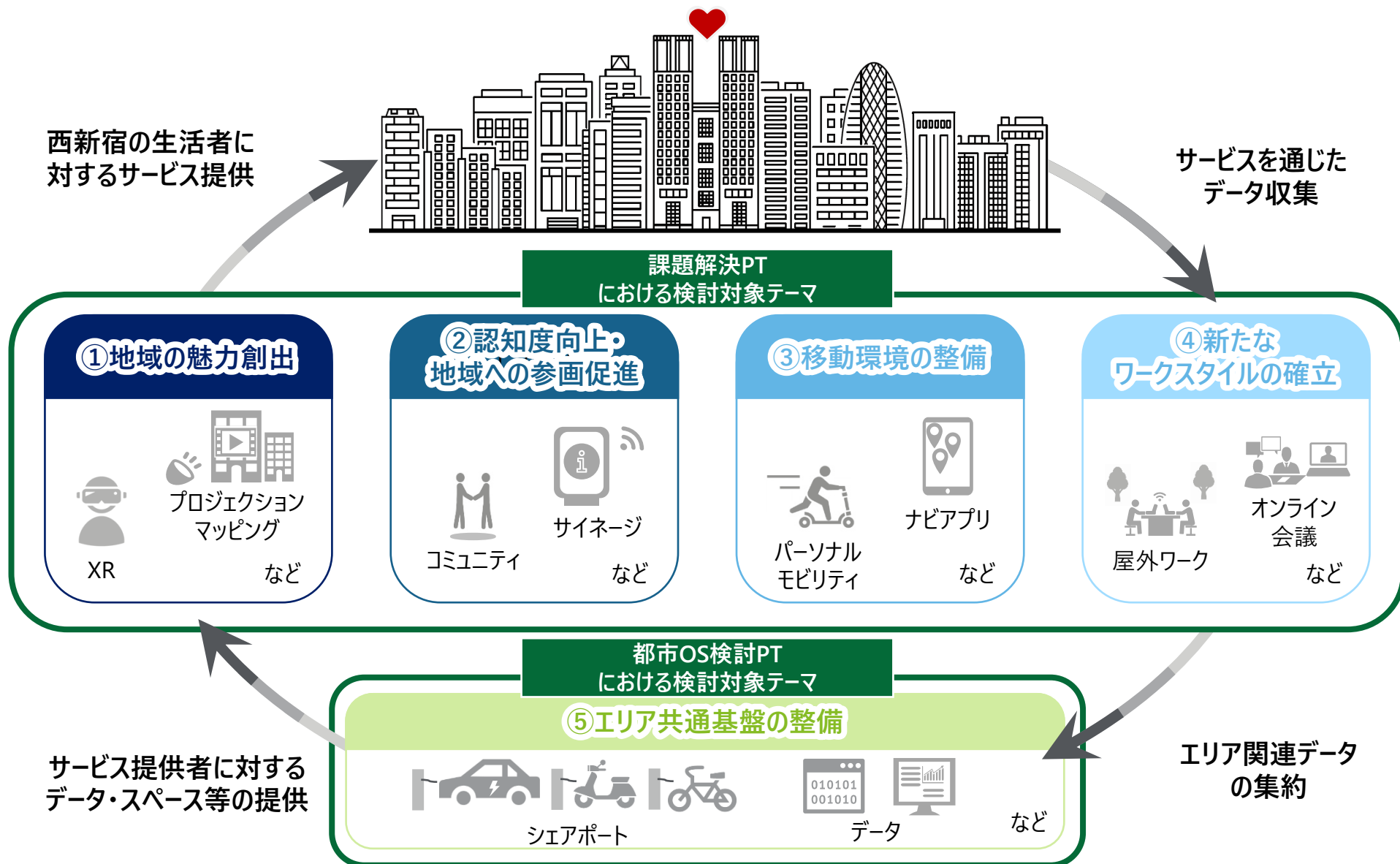
各中長期PJの取組結果と来年度方針案、都公募事業の結果について報告

	課題解決PT	都市OS検討PT
ミッション	■ 優先的に解決すべき課題に対する施策を実行すること	■ データ利活用に対する関係者の理解を促進すること ■ データ利活用を推進するための論点を明らかにすること ■ データを基軸としたエリアの共通基盤を構築すること
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区	■ 通信事業者 ■ プロジェクトリーダー ■ フェロー
実施事項	■ 各テーマの3年間の企画内容共有 ■ 各テーマのR3年度実証内容共有 ■ 企画の進捗状況・課題感・成果（効果検証結果）共有 ■ 新たなPJ立ち上げに関する状況共有 ■ テーマの目指す状態に関する討議	■ エリアOSの考え方共有 ■ 西新宿におけるデータ利活用案の企画検討 ■ テーマ⑤実証企画・結果の共有
スケジュール・主なアジェンダ	4月協議会（第1回）10月協議会（第2回）12月協議会（第3回）西新宿 Smart City WEEK 20223月協議会（第4回）	
	■ テーマ①～④企画の共有 ■ テーマ⑤企画案の共有 ➢ エリアOSの位置づけ ➢ データ利活用事例 ■ 各テーマ実証企画内容に関する意見交換 ■ テーマの目指す状態に関する討議 ■ 協議会構成メンバー増枠の共有 分科会	■ 中長期PJにおける実証の進捗・結果共有 ■ 都公募事業の紹介 ■ 各PJに関する意見交換 分科会 ■ 中長期PJにおける実証の進捗共有、「西新宿Smart City WEEK 2022」での取組の紹介 ■ 各PJに関する意見交換 分科会 ■ 中長期PJにおける実証結果の共有 ■ 来年度方針案の共有 ■ 都公募事業の結果報告 ■ 各PJに関する意見交換 本日ご報告

中長期的な視点での検討テーマの全体像

中長期的な視点での検討テーマの全体像

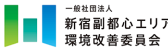
西新宿でテーマ毎に実現される2~3年後の状態の実現に向けたプロジェクトを推進



※各テーマに記載している内容は例示

中長期の課題解決プロジェクト（2022年3月時点）

西新宿の課題解決プロジェクトが新たに1つ加わり、計8つのプロジェクトで推進中

テーマ	実現される2~3年後の状態	プロジェクト名	プロジェクトリーダー	施策概要
①地域の 魅力創出	平日・休日や時間帯を問わず、 西新宿の特性を活かしたコンテンツを 提供・体験し、楽しんでいる状態	①-1. 新宿WoW プロジェクト		地域資源を活用した 魅力的なコンテンツの創出・ コンテンツ間の連携促進
②認知度 向上・地域へ の参画促進	個人のニーズに合った情報や 地域内コミュニティ活動の情報が 手に入ることで「人與人」「人と都市」が つながれる状態	②-1. コミュニティ形成・交流人口増加 プロジェクト		地域内外での交流活性化を 図る部活動コミュニティ活動等 の実施
		②-2. スマートシティ カレンダー		エリア内情報をカレンダーアプリ に連携することによる 情報集約と情報発信
		②-3. 西新宿LOVE Walker プロジェクト		生活者参加型の Webメディアによる エリアの情報発信
		②-4. 無人対話型受付案内 プロジェクト	 株式会社レスターエレクトロニクス	ルート・イベントの案内や ユーザーの声収集のための キャラクター・インターフェイス提供
③移動環境 の整備	誰もがニーズに合った移動方法を選択し、 ゆとりある空間で、 安心・快適にエリア内を移動できる状態	③-1. 次世代モビリティ プロジェクト	 損保ジャパン	西新宿の魅力スポット、 ワークスペースをつなぐ 次世代モビリティの提供
④新たな ワークスタイル の確立	特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、 エリア内外のワーカーが 高い生産性で働けている状態	④-1. 西新宿CAMP プロジェクト	 	先端技術を備えた屋外ワーク スペースやジョブマッチング プラットフォームの構築
⑤エリア共通 基盤の整備	エリア内の実証や各種サービス実装に必要な 共通基盤（ハード・データ・ルール等）の 利活用が円滑かつ迅速にできる状態	⑤-1. 西新宿TSUNAGU プロジェクト	 	各プロジェクトの拡大に係る エリア共通基盤の整備

新規参加

新規プロジェクトの立ち上げ及びプロジェクトへの参加希望は来年度も受付予定

プロジェクトの取組結果・来年度の取組方針

テーマ①：地域の魅力創出

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：①地域の魅力創出

西新宿の課題

屋外で飲食できる
スペースの拡充

他地域には無い地域
独自の飲食店の拡充

豊富な自然に
触れられる環境の拡充

友人や知人との
交流機会の提供

団らんで
場所の拡充

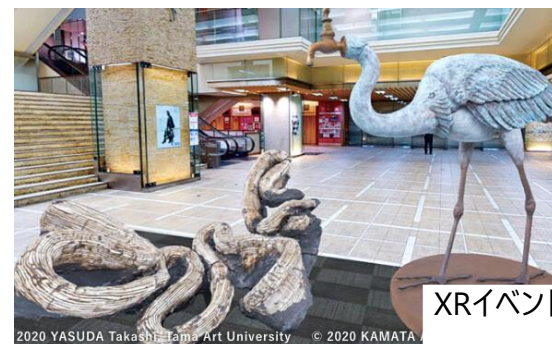
平日・休日や時間帯を問わず、
西新宿の特性を活かしたコンテンツを提供・体験し、楽しんでいる状態



自然を感じられる野外飲食スペース
(出所：SHUKNOVA HP)



飲食店のリアルタイムの空席状況の可視化
(出所：VACAN HP)



XRイベント (XR Collection & Museum)
(出所：XRシティ SHINJUKU HP)



屋外映画イベント
(出所：小田急電鉄 HP)

①-1.新宿WoWプロジェクト（小田急電鉄株式会社）

テーマ

①地域の魅力創出

解決を目指す西新宿の課題

- 屋外で飲食できるスペースの拡充
- 豊富な自然に触れられる環境の拡充
- 友人や知人との交流機会の提供

2-3年後に目指す姿

- エリア内のイベント等を通じて、受動的体験に加えて能動的体験で西新宿の魅力を楽しめている状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- コンテンツホルダー：コンテンツ事業者等
- デジタル技術（XR）：通信事業者

施策概要

- 地域資源・地域イベント等を活用し、魅力的なコンテンツの発掘及び創出やコンテンツ間の連携を促進し、魅力が生まれるプラットフォームの構築を推進する。

3か年計画

1年目

- 既存イベント（Candle Night、屋外映画、ビアマーケット等）への新規コンテンツの追加
- ✓ Candle Night @ 新宿中央公園
- ✓ Beyond the Frame Festival

2年目

- 既存イベント等のプラットフォーム化の拡充

3年目

- リアル×デジタル×コンテンツの融合

想定KPI

- 参画プレイヤー数（地域プレイヤー・地域外プレイヤー）各 + 1
- 提供コンテンツ数各イベント + 2 コンテンツ
- 体験ユーザー数（女性参加割合・夜間活動状況）※要検討

①-1.新宿WoWプロジェクト（小田急電鉄株式会社）

今年度の取組結果報告

実施内容	Candle Night @ Shinjuku ■ 新宿中央公園をデコレーションされたキャンドルで彩る。 ■ キャンドルホルダーの塗り絵、地域・小学校での塗りえワークショップなど 	効果検証結果 (KPI)	■ 参加プレイヤー数：地域 2、地域外 1 ■ 提供コンテンツ数： 4 ■ 体験ユーザー数：22百人（女性比率約60%）
		結果考察	【実施結果】 ■ 事前告知は控えたものの来場者数は例年以上であり、継続的な実施により地域における認知度が向上してきた。子供や女性参加者も多く、冬の公園での新たな過ごし方、新たな魅力を提供できた。 【改善点】 ■ 周辺施設への波及及び連携や、イベント自体の魅力付け、情報発信・拡散について工夫の余地がある。 【直面した課題・ハードル】 ■ コロナ渦におけるイベント開催自体の難しさ。連携コンテンツにおける制限（飲食系がNG）。
実施場所	■ 新宿中央公園 水の広場	来年度以降 の取組方針	■ 継続的な実施を予定している。西新宿の冬の象徴的イベントとしての魅力付けを行うとともに、地域や外部企業との連携により同時開催コンテンツを増やすとともに、テクノロジーの活用を進めスマートシティ化を意識した展開を模索する。
実施時期	■ 2021年12月24日～25日		

①-1.新宿WoWプロジェクト（小田急電鉄株式会社）

今年度の取組結果報告

実施内容	Beyond the Frame Festival ■ 先端テクノロジーを活用した映画を扱う映画祭を開催。日本の多くのクリエイターや一般の方々がXR（VR(3DoF,6DoF)、AR、MR）作品に触れる機会を提供し、クリエイターの支援・育成へ繋げる。 ■ アクセスの良いオフライン会場には専用機材と専門スタッフを配備し、「XR初心者」にも触れやすい環境を整備。 ■ 同時にオンラインでも体験できる環境を検討しハイブリッドなXR映画祭。  	効果検証結果 (KPI)	■ 参加プレイヤー数：地域外 1 ■ 提供コンテンツ数：1 ■ 体験ユーザー数： オフライン216人 オンライン約1万回
		結果考察	【実施結果】 ■ 国内初のXR映画祭を西新宿で実施し、先進的な取り組みの実施エリアとしての発信に貢献。新たな技術への関心の高いクリエイティブ層の来訪にも貢献。 【改善点】 ■ 事前告知が十分でなく、認知度が高まらなかった。 【直面した課題・ハードル】 ■ イベント認知度を高めていく必要がある。
実施場所	■ 小田急ホテルセンチュリーサザンタワー内	来年度以降 の取組方針	■ 継続的に実施すべく検討中。デジタルにやさしい西新宿の環境特性を生かし、西新宿発のXRにおける新たな映画祭として国内外に認知を深めていき、XR業界における西新宿の知名度を高める。
実施時期	■ オフライン 2021年12月16日～2022年12月19日 ■ オンライン 2021年12月16日～2022年1月15日		

プロジェクトの取組結果・来年度の取組方針

テーマ②：認知度向上・地域への参画促進

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：②認知度向上・地域への参画促進

西新宿の課題

友人や知人との
交流機会の提供

友人知人からの口コミを
促すコミュニティの形成

西新宿エリア全体での
統一的な情報の発信

他エリアと比べて特徴的な
まちのブランドイメージ確立

個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が
手に入ることで「人與人」「人と都市」がつながれる状態



デジタルを活用した交流イベント



ポータルサイトを通じた情報発信
(出所：西新宿LOVE WALKER HP)



オンライン×オフラインの交流



デジタルサイネージ

(出所：東京都次世代通信推進課note)

②-1.コミュニティ形成・交流人口増加（東日本電信電話株式会社）

テーマ
②認知度向上・地域への参画促進
解決を目指す西新宿の課題
■ コロナ禍によるコミュニケーションの減少（→増やしたい） ■ 物理/心理的に人が集まる場所が少ない（→増やしたい） ■ ハード/ソフト面で認知度が低い（→高めたい）
2-3年後に目指す姿
■ 企業・世代間の交流質の増加により、「在勤・在住していることに満足できている（Well-being※）」状態を実現 ※身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること ■ 個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人と人」「人と都市」が繋がっている状態
プロジェクト参加者・役割（案）
■ 東日本電信電話株式会社（プロジェクトリード） ■ 日本芸能実演家団体協議会（コンテンツ協力） ■ クリアソン新宿（コンテンツ協力） など ※本協議会参加企業をはじめ、事業拡大に応じて企業巻き込み

施策概要	
■ 様々な属性（例：ビジネス、学生、住民）に向け、コミュニティを形成し繋がりを作ることで、左記課題の解決を図る ■ 西新宿エリアの魅力発掘・認知度向上につながるコミュニティを複数形成するために、コミュニティ対象層を拡大 ■ コミュニティ自走化や拡充に向けて、地域のキーマン（コミュニティオーナー）を草の根的に見出す仕組みを構築	
3か年計画	
1年目	■ 実践コミュニティ数：2 ■ 参加者の満足度（平均）が高い状態 ※1
2年目	■ 西新宿エリアにおけるコミュニティが自発的に出来る仕組みの形成と支援
3年目	■ 西新宿エリア以外におけるコミュニティが自発的に出来る仕組みの形成と支援 ※西新宿エリアと連携
想定KPI	
■ ・参加者の満足度（平均）が高い状態 ※1 ■ ・実践コミュニティ数 <コミュニティスタート2以上>	

※1 NPS（ネットプロモータスコア）が「0以上」である状態
→サービスに対する評価を11段階で顧客に実施してもらい、サービスの「推奨者」「批判者」に分別。
「推奨者の割合」が「批判者の割合」より多い状態。

②-1.コミュニティ形成・交流人口増加（東日本電信電話株式会社）

今年度の取組結果報告

実施内容	◎今年度は実践コミュニティ数を2つに増やし、部活動コミュニティを展開  ×  NTT東日本 ①ウォーキングコミュニティ（のべ21名） ・コミュニティ自走化に向けて地域団体を運営母体として、各回でメンバーを変更しながら、クリアソン新宿が運営・企画、NTT東が運営サポートの形で実施 ・新たな西新宿の魅力発掘・認知度向上を目的に西新宿在勤・在住者以外に対象を拡大 →各回のアンケートからNPS（※）を算出し、顧客ロイヤリティを算定  ×  NTT東日本 ②日本舞踊コミュニティ（7名） ・伝統芸能（日本舞踊）を通じた日本文化の面白さの再発見、ビジネス上での所作の取り込み等を目的にシリーズ的に活動 ・花柳源九郎（日本舞踊家）氏を講師に、芸団協がコンテンツ提供、NTT東が運営サポート、オンライン配信を提供	効果検証結果 （KPI）	■ 実践コミュニティ数：2（目標達成） ■ NPSスコア：64pt（極めて良い状況、目標達成） ＜参考＞昨年度(落語)は74pt
実施場所	①新宿中央公園付近 ②芸能花伝舎	結果考察	【実施結果】 ■ ウォーキングコミュニティは全5回中3回、日本舞踊コミュニティは全5回中2回実施したが、まん延防止等重点措置等により、活動は中止 ■ 各HPやLINE等も活用したものの、最終的には事務局(NTT東)から直接参加者を集めざるを得なかった →認知・情報発信に課題 ■ リアルなやり方から脱せず、新たな手法等の発見にはつながらなかった 【改善点】 ■ 実施方法（時期・時間帯等）の検討 ■ コミュニティ自走化に向けたやり方の検討 【直面した課題・ハードル】 ■ 域内外からの新たなメンバーの参画に向けた魅力あるテーマの設定、認知や情報発信につながらず ■ 新たなコミュニティオーナーの募集・登場が必要 ■ 既存コミュニティも自走化・定着化に至らず
実施時期	①2021年12月（12/13・20）、2022年1月（1/10） ②2022年1月（1/13、1/20）	来年度以降 の取組方針	■ 目的である認知度向上・地域への参画促進の面で、プロモーションも含めた認知・情報発信が先決 ■ 現行踏襲型(リアル)では新たな人と人との接点の創出に至らず、角川アスキー総研様、ジオルテ様や広報・巻き込みTFの活動に移行を検討していきたい

②-2.スマートシティカレンダー（株式会社ジョルテ）

テーマ

②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題

西新宿エリア全体での統一的な情報の発信

2-3年後に目指す姿

- 欲しい情報が自然と見つかる。出来ることに気付く。人の回遊を作る
- 各店舗が、効率的に情報を届けられる。効率的な集客ができる
- 商店街、店舗、住民、来訪者がカレンダーベースで統一的に情報を共有できる

プロジェクト参加者・役割

- 株式会社ジョルテ（プロジェクトリーダー）
スマートシティカレンダーの企画、開発、推進、地域での実証
 - ソニーマーケティング株式会社
テレビ環境での利活用に伴うプランニング、実証実験サポート
- ※ 事業拡大に応じて、他企業を巻き込む

施策概要

- 統一的な情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを構築
- 西新宿エリアで行われる各種イベント情報を収集
（主要イベントだけでなく、店舗等での小さなイベント、トピック、開店時間や混雑状況も）
- スマホだけでなく、人が集まる場所に設置した大型テレビによる情報配信

3か年計画

1年目

- 統一的な情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを構築

2年目

- 統一的な情報発信と、エリア内での効率的な集客や、人の回遊を実現

3年目

- 西新宿エリア以外にも拡大させ、エリア間の人の回遊を実現

想定KPI

- 継続的な利用が見込まれるコミュニティや施設 3箇所
- 実証実験によるユーザ調査で、継続的な利用意思ユーザの割合30%

②-2.スマートシティカレンダー（株式会社ジョルテ）

今年度の取組結果報告

実施内容

■ 西新宿スマートシティカレンダーの配信

西新宿エリアのイベント情報や施設情報をカレンダー型の配信サイトにて情報発信を実施。
情報はイベントバンク社、ジョルダン社が持つ情報と、個別に地域の情報を収集（主にギャラリー）して配信を実施した。



効果検証結果 (KPI)

■ サイト閲覧者数 1,133 人

結果考察

【実施結果】

■ 配信や収集の形は実践できたが、継続的な利用につながるところまでには至っていない。
昨年末からの実施のため期間が短くまだこれからというところと、コロナの影響で情報収集などが進めにくかったことも影響している。

【改善点】

■ 各施設や店舗に対する情報発信の明確なメリットが必要。
■ 住民、訪問者へ情報を届けるための手段。

【直面した課題・ハードル】

■ 情報の充実度、情報発信のモチベーション、見る必然性。（これから具体的に取り組む）

実施場所

■ WEBサイト

<https://sv5.jorte.com/calendar/spot/61b1e3c3673fa955ded43fbb>

実施時期

■ 2022年1月20日 ～ 1月31日

来年度以降 の取組方針

■ 統一的な情報発信ツールの提供

■ 商店街、各施設、店舗と協力して、継続利用価値の創造

■ 地域情報を見る環境や必然づくり

②-3.西新宿LOVE Walkerプロジェクト（角川アスキー総合研究所）

テーマ

②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題

- ・西新宿エリア全体での統一的な情報の発信
- ・友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成
- ・他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージの確立

2-3年後に目指す姿

- 西新宿の住民や西新宿で働くワーカー、通学する学生に西新宿LOVEWalkerという媒体が広く認知し、西新宿の情報の拠り所となっている。
- 西新宿LOVEWalkerへの情報提供に多くの企業、団体が関与し、このメディアを通じてコミュニティやイベントが発生している状態。

プロジェクト参加者・役割

- 株式会社角川アスキー総合研究所（プロジェクトリード）
- 小田急電鉄株式会社（プロジェクト連携・推進・コンテンツ提供）
他多数の西新宿関連企業、団体を事業拡大に応じて巻き込み

施策概要

- 西新宿LOVEWalkerというWEBメディアを立ち上げ、Twitterの公式アカウントを開設、西新宿の地元愛を訴求し、この地域を活性化する。
- 地域の方々と一緒に作るUGM（User Generated Media）を目指し、この地域の多くの方々からの連載記事を展開。
- 西新宿LOVEWalkerを通して、スマートシティやスタートアップの取組を発信し、デジタルを通じたまちづくりのブランドイメージを醸成。

3か年計画

1年目

- 取材活動を通じて、地域関連企業や団体への認知・記事提供者（社）数の拡大→**現在15団体**

2年目

- TwitterなどのSNSを活用した一般ユーザーの認知拡大

3年目

- 西新宿LOVEWalkerを起点とした地域の方々と企業・団体が連携したコミュニティの形成やイベントの実施

想定KPI

- 地域関連企業・団体発信の連載記事（20以上）→**15団体達成**
- 西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施（3以上）→**小田急電鉄様と来年度実施に向け協議中**

②-3.西新宿LOVE Walkerプロジェクト（角川アスキー総合研究所）

今年度の取組結果報告

実施内容

- 西新宿LoveWalker プロジェクト
- WEB、Twitterを通じての情報発信。
- 地域の方々にも情報発信に協力して頂き、地元愛を訴求する狭域メディアを目指す。



効果検証結果 (KPI)

- 地域関連企業・団体発信の連載記事（20以上）
→15団体達成
- 西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施（3以上）
→小田急電鉄様等と来年度実施に向け協議中

結果考察

【実施結果】

- 月間PV40万、月間UU5万。
Twitterフォロワー数は、約12,700フォロワー。
KPIに対しての進捗は上記の通り。

【改善点】

- ## ■ さらなる地元関係者・企業・住民のメディア参加

【直面した課題・ハードル】

- ## ■ コロナ禍によるリアルイベント・コミュニティ形成の実施

来年度以降 の取組方針

- 新たなプラットフォーム活用YouTube Liveの実施
04月もしくは5月に60分～90分の放送予定。反響をみて、年度内、複数回の実施も検討中。

- 現地取材の強化と情報提供のお願い
○記事提供先 bps-release@ml.kadokawa.jp
「まん延防止等重点措置」が解除後は、編集部による
現地取材なども実施予定。

実施場所

- <https://lovewalker.jp/nishi-shinjuku/>

実施時期

- 2021年1月～スタート

プロジェクトの取組結果・来年度の取組方針

テーマ③：移動環境の整備

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：③移動環境の整備

西新宿の課題

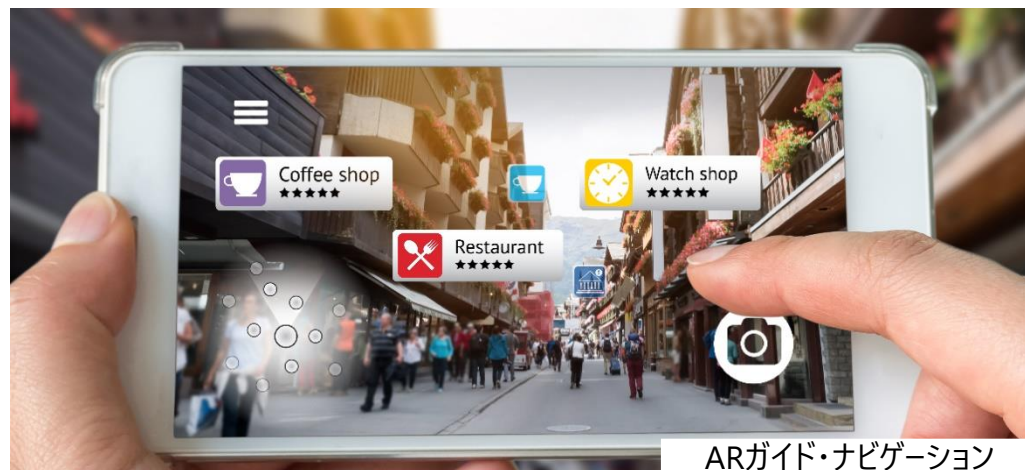
ゆとりのある、まちなかの歩
行空間の提供

3密を回避できる
移動空間の提供

清潔感が保たれている
環境の提供

災害対応力、
バリアフリー対応力の強化

誰もがニーズに合った移動方法を選択し、
ゆとりある空間で、安心・快適にエリア内を移動できる状態



③-1.次世代モビリティプロジェクト（損保ジャパン）

テーマ
③移動環境の整備
解決を目指す西新宿の課題
■ エリア内各魅力スポットへの移動手段の提供（回遊性の向上） ■ 3密を回避できる移動空間の提供
2-3年後に目指す姿
■ 西新宿で働く・遊ぶ・暮らす人々が、複数の次世代モビリティを利用可能でエリア内の目的地まで安心・安全・快適に移動することができる状態
プロジェクト参加者・役割（案）
■ 自動運転サービス実証実験 東京都・公募「西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に向けた5Gを活用したサービスモデルの構築に関するプロジェクト」の採択を受けて実施 ・ 大成建設（代表企業・インフラ協調） ・ ティアフォー（自動運転システム） ・ アイサンテクノロジー（高精度三次元地図） ・ KDDI（5G） ・ 日本信号（インフラ協調） ・ 大成ロテック（インフラ協調） ・ プライムアシスタンス（遠隔見守り） ・ 小田急電鉄（交通事業者）など ■ 自動配送サービス実証実験 東京都・公募「5Gを含む先端技術を活用した西新宿エリアにおけるスマートシティサービス実証事業」の採択を受けて実施 ・ ティアフォー（代表企業・自動走行ロボット） ・ KDDI（5G） ・ 小田急電鉄（配送ユースケース）など

施策概要	
■ 西新宿の魅力スポット、ワークスペースをつなぐ次世代モビリティの提供 ■ 安心・安全・快適な移動サービス実現に向けた取組 ■ 各移動サービスの連携に向けた検討	
3か年計画	
1年目	■ まちのインフラと協調（V2X）した、安心・安全な自動運転移動サービス実証実験の実施 ■ 自動走行ロボットを活用した配送サービス実証実験の実施
2年目	■ 西新宿エリアまちづくりとの連携強化。サービスモデル等の検討 ■ 公共交通、次世代モビリティサービスとの対話を実施、連携の検討を開始
3年目	■ 次世代モビリティ移動サービスと公共交通のシームレスな接続検討 ■ エリア内他サービスとの連携検討
想定KPI	
■ 移動サービスにおける乗り心地（試乗者アンケート） 目標値：90%以上満足 ■ 自動配送サービスにおける満足度（体験者アンケート） 目標値：90%以上満足	

③-1.次世代モビリティプロジェクト（損保ジャパン）

今年度の取組結果報告

実施内容	■ まちのインフラと協調した自動運転移動サービスの実証実験  ■ 自動配送ロボットの公道実証実験 	効果検証結果 (KPI)	■ 移動サービスにおける乗り心地 ： 96%（良いまたはやや良いの比率） ■ 配送サービスにおける満足度 ： 100%（非常に良かったまたは良かったの比率）
実施場所	■ 移動サービス：新宿駅西口地下ロータリー～都庁第二本庁舎 ■ 配送サービス：新宿中央公園およびKDDIビル～都庁第二本庁舎付近	結果考察	【実施結果】 ■ 課題はあるものの、西新宿という高度な技術を要するエリアであったものの、自動運転を活用した移動サービス、配送サービスの実証実験を事故やトラブルなく実行することができた。 【改善点】 ■ 実サービスを見据え、サービス提供事業者を中心とした実証実験が必要 【直面した課題・ハードル】 ■ 使用場所の許可取得等に期間を要した。また長期間の利用が困難など。長期的に実証実験を行うフィールドが必要 ■ 公共交通運賃や一般的な配送サービス料金では収支バランスが保つことが難しい。持続可能なサービスとして社会実装するための仕組みが必要
実施時期	■ 2022年1月22日 ～ 2月10日	来年度以降の取組方針	■ 公共交通、次世代モビリティサービスとの対話を開始、連携の検討を始める

プロジェクトの取組結果・来年度の取組方針

テーマ④：新たなワークスタイルの確立

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：④新たなワークスタイルの確立

西新宿の課題

必要なときにチームで集まって、
議論ができる環境の提供

騒音がなく、プライバシーの確保された
環境の提供

特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、
エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態



VR会議



屋外で働けるコワーキングスペース
(出所：新宿区、WWD HP)



オンライン会議ができる会議スペース



スタートアップ支援拠点（TOKYO UPGRADE SQUARE）
(出所：東京都 HP)

④-1.西新宿CAMPプロジェクト（KDDI・大成建設・KDDI総合研究所）

テーマ

④新たなワークスタイルの確立

解決を目指す西新宿の課題

- 必要な時にチームで集まって議論ができる環境の提供
- 騒音がなく、プライバシーの確保された環境の提供
- 普段出会わない社外の人とのビジネス交流機会があること

2-3年後に目指す姿

- 都市に集いたくなる、セレンディピティのある、快適な場所がある
- 多様な働き方を支える、多様な場がある
- 円滑なコミュニケーションを支える通信環境がある
- 新しい仲間と挑戦したい仕事が見つかり、やりがいが増殖する（＝遊ぶように働ける）

プロジェクト参加者・役割（案）

- KDDI・KDDI総合研究所：
5G・AI・XR等先端技術の組込み、PFの構築
- 大成建設：実施場所の確保、施設の構築

施策概要

- 先端技術を備えたワークスペースの構築
- 企業・自治体を超えたジョブマッチングPFの構築

3か年計画

1年目

- PFの要件定義・構築
 - 空間のデザイン・構築
 - 実証
- ※東京都の5G等活用サービス実証公募に採択

2年目

- 実証拡大（実施場所や参加企業を拡大）
- 持続性評価

想定KPI

- ワークスペース：稼働率 50%
- ジョブマッチング：参加組織数 10組織

④-1.西新宿CAMPプロジェクト（KDDI・大成建設・KDDI総合研究所）

今年度の取組結果報告

実施内容	■ ワークスペースWG 場所に縛られない働き方の実現のため、5G・AI・XR等先端技術を備えた屋外ワークスペースを構築、関係者での実証を実施  ■ ジョブマッチングWG 仲間や仕事が見つかり、やりがいが増殖する働き方の実現のため、企業間の副業模擬活動のスキームを構築、関係者で実施 	効果検証結果 (KPI)	■ ワークスペース稼働率 目標 50% 2022年3月実績 28% ■ ジョブマッチング参加組織数 目標 10組織 2022年3月実績 4組織
実施場所	■ ワークスペースWG 新宿中央公園、工学院大学、TOKYO UPGRADE SQUARE、他 ■ ジョブマッチングWG 上記、オンライン	結果考察	【実施結果】 ■ 西新宿の働き方に関する課題3点（前頁記載）に対して、効果を確認 ・集まりたくなる、防音性のあるワークスペースの提供 ・社外の人とのビジネス交流機会の提供 【改善点】 ■ AI・XR活用技術の精度向上・体験価値向上 ■ 屋外ワークスペースの設置にかかるオンデマンド性の向上 【直面した課題・ハードル】 ■ まん延防止による、都民への体験機会提供の消失
実施時期	■ ワークスペースWG：2022年3月 ■ ジョブマッチングWG：2022年2月～3月	来年度以降の取組方針	■ 実証拡大（実施場所・ユースケース・参加企業の拡大） ■ 持続性評価

プロジェクトの取組結果・来年度の取組方針

テーマ⑤：エリア共通基盤の整備

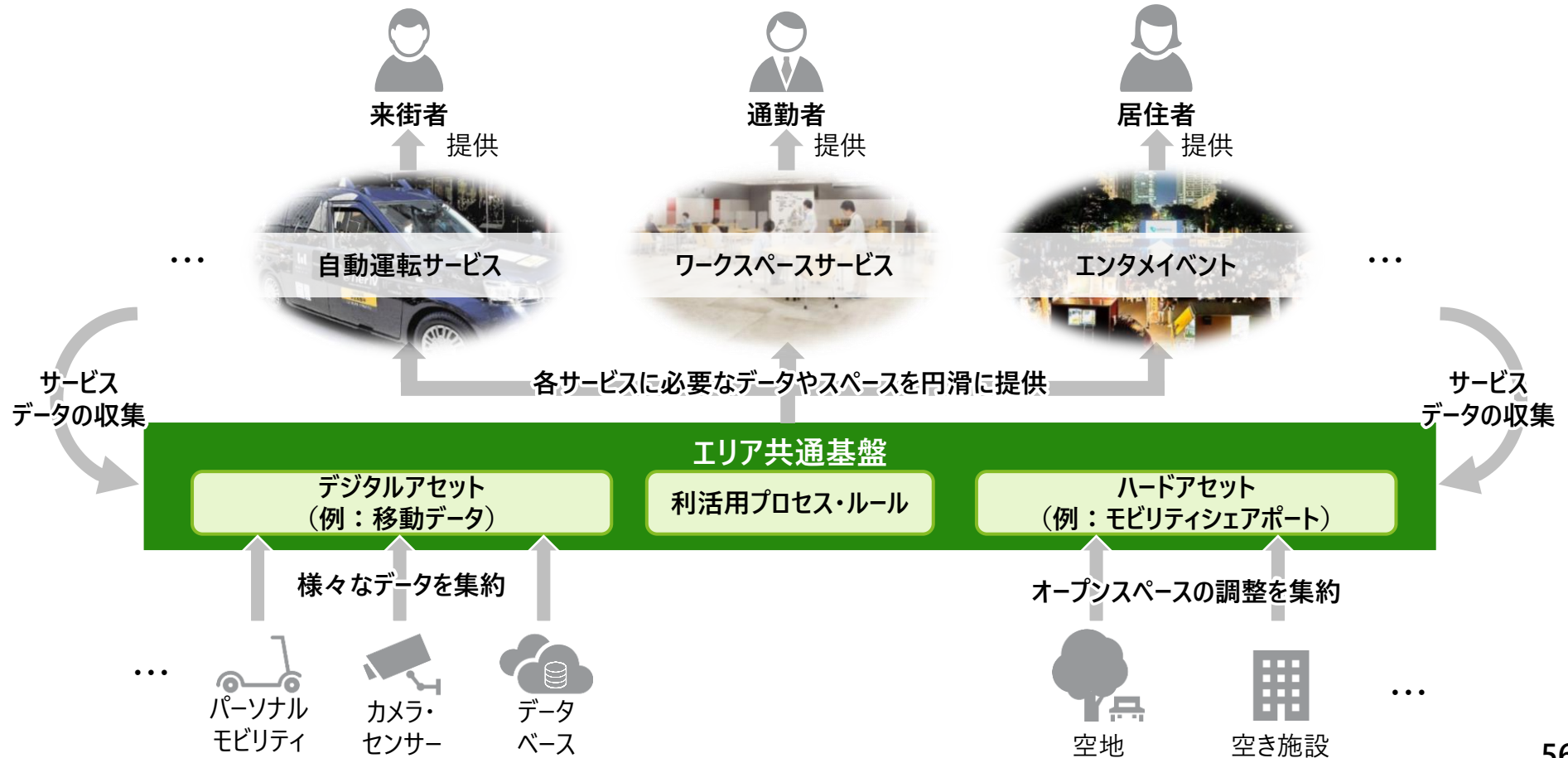
テーマ毎の実現される2~3年後の状態：⑤エリア共通基盤の整備

短期実証を進める中で再認識された課題

エリアに関連する官民データの
円滑な共有及び利活用の促進

エリア内のオープンスペースの利用促進

エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤 (ハード・データ・ルール等) の利活用が円滑かつ迅速にできる状態



⑤-1.西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都）

テーマ

⑤エリア共通基盤の整備

解決を目指す西新宿の課題

- エリアに関連する官民データの円滑な共有及び利活用の促進
- エリア内のオープンスペースの利用促進

2-3年後に目指す姿

- エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤（ハード・データ・ルール等）の利活用が円滑かつ迅速にできる状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- 新宿副都心エリア環境改善委員会
（ハードアセットやハードアセット関連データの収集・提供）
- 東京都
（デジタルアセット（エリアOS）の構築）

施策概要

- オープンスペースの利用促進に向け、エリア共通基盤として対象とするハードアセットやデジタルアセット（エリアOSやデータ）、及びその管理・運用方法を実証等を通じて検討
- ハードアセットやデジタルアセットを利用する際のルールやプロセスを検討
- エリア共通基盤を管理運用する組織体制やビジネスモデルを検討

3か年計画

1年目

- 特定の移動サービスにおける活用をケースに、共通基盤の検討・実証を実施

2年目

- 活用する移動サービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、一部の機能を実装

3年目

- 移動以外の分野にサービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、実装機能を拡張・強化

想定KPI

- 検証観点① エリアOSに求める機能を実証・実装できたか
- 検証観点② 西新宿で展開するサービスの高度化に寄与できているか
⇒想定KPI：連携サービス数 10件
- 検証観点③ センサーや他システムと連携してデータを収集できているか
⇒想定KPI：利用できるデータ種数 6種類

⑤-1.西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都）

今年度の取組結果報告

実施内容	■ 西新宿エリアのオープンスペース利活用を円滑化するため、“移動”をケースに共通基盤（エリアOS）の構築・実証を実施 【ユースケース①：データライブラリ】 ➢ オープンスペース情報等のデータセットを集約・一覧化して提供 【ユースケース②：ダッシュボード】 ➢ オープンスペースの空き状況や利用申請への対応状況等を可視化 【ユースケース③：人流予測シミュレータ】 ➢ 時間帯単位での人流予測情報を提供    ■ エリアOSにおける単体の技術検証に加え、都市サービス等に対して貢献できているかも検証 【検証項目①：＜データ＞】 ➢ センサーや他システムと連携してどのようなデータを収集できているか 【検証項目②：＜機能＞】 ➢ エリアOSに求める機能を実装できているか 【検証項目③：＜ユーザビリティ＞】 ➢ 西新宿で展開するサービスの高度化に寄与できているか	効果検証結果（KPI）	【①＜データ＞】：8種類のデータを収集 ➢ 静的データ：1種類（オープンスペース21件（内、4件は規定の全項目について収集）） ➢ 動的データ：3種類（人流4件・環境2件） ➢ 地理空間データ：3種類（地図、3D都市モデル、目的地/移動サービス） ➢ メタデータ：1種類（閲覧/DL/申請履歴） 【②＜機能＞】：ユースケース3件について機能を確認 ➢ データライブラリとダッシュボードについて基本機能、データ管理機能、中核機能を構築 ➢ 125m四方毎の滞在人口と歩道上の移動人数について予測機能を構築しダッシュボード上に可視化 【③＜ユーザビリティ＞】：操作性と有用性を確認 ➢ サービサー・スペース保有者への検証にてサービスへの有用性を確認
実施場所	■ NA	結果考察	【実施結果】 ■ 各種機能を構築しシステムの有用性を確認できた 【改善点】 ■ データ不足によりダミーデータを利用した機能が存在 ■ 操作性が直感的でない機能が一部存在 【直面した課題・ハードル】 ■ データの収集には、エリアOSの有用性をデータ保有者に十分に理解いただくことが重要
実施時期	■ 構築：2021年7月～2022年2月 ■ 検証：2022年2月～3月	来年度以降の取組方針	■ 掲載データの拡充と操作性の改善 ■ サービサーによる実利用の推進 ■ エリアOS運用の体制とルールを検討

⑤-1.西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都） ランディングページ

サービスなどに目的や機能を紹介すべく、ランディングページを公開

目的	■ エリアOS利活用者に対し、取組の概要を紹介するため
掲載場所	■ 協議会ホームページの「西新宿TSUNAGUプロジェクト」個別ページ内 西新宿エリアOS – Nishi-Shinjuku Area Operating System (smartcity-nishishinjuku.jp)
エリアOS 構築の目的	■ 西新宿エリアの8割を占めるオープンスペースの利活用に向けて エリア情報を集約したエリアOSを構築（2021年度は実証）
実施主体・ 協力者	■ 事業者・団体名とロゴを掲載
掲載項目	【データライブラリ】 ユースケース① ■ エリア情報が可視化されオープンスペース利活用に向けた調整が可能 【ダッシュボード・人流予測シミュレータ】 ユースケース②・③ ■ エリア情報の閲覧・ダウンロードが可能 ■ イベント情報や気象情報に基づくエリア内の人流予測が可能 【3D都市モデル】 ■ 段差や傾斜を含むスペースの情報をデジタル3Dマップにより オープンスペースの利活用検討が可能
	■ 西新宿スマートシティ協議会の目的と取組内容、HPへのリンク



来年度もエリアOSのアップデートに向けてご協力をお願いします

都関連事業の取組結果

1. スマートポールの面的設置

公募により選定した協働事業者とともに、5Gアンテナ、Wi-Fi及びセンサー等を備えた次世代インフラ「**スマートポール**」を整備し、**5G通信エリアの構築を促進**

協働事業者：株式会社J TOWER

(東京電力パワーグリッド株式会社及び東日本電信電話株式会社との共同提案)

デザイン及び搭載機能

サイネージ型



ポール型



つながる



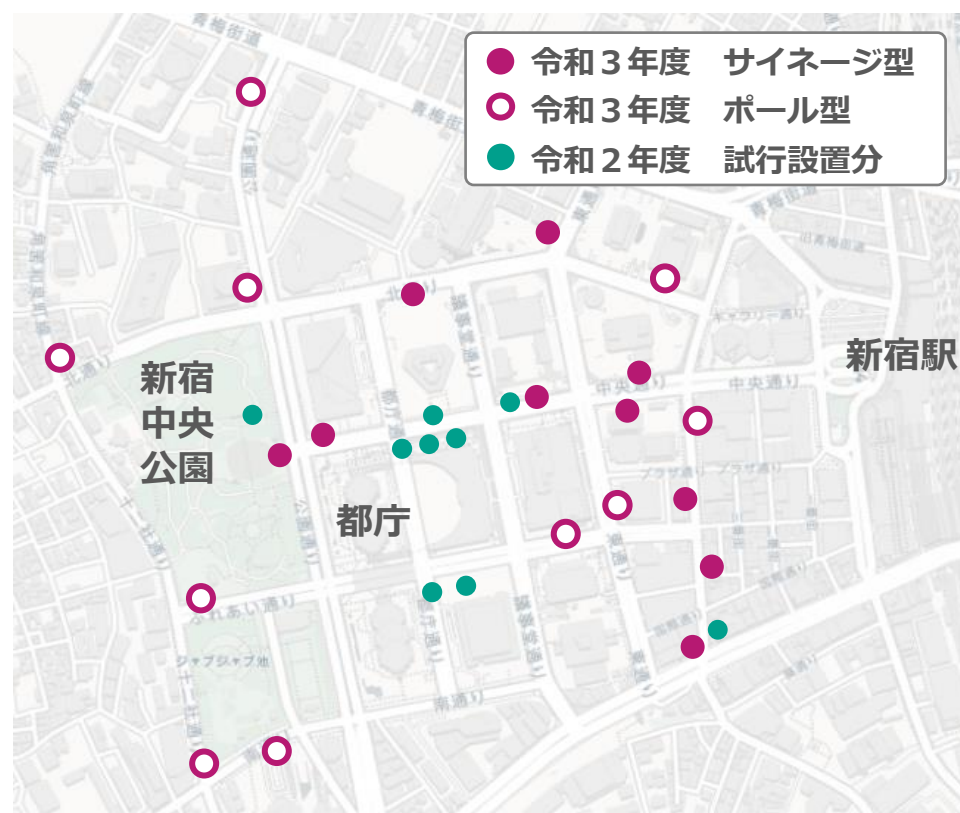
見える



伝わる



設置場所

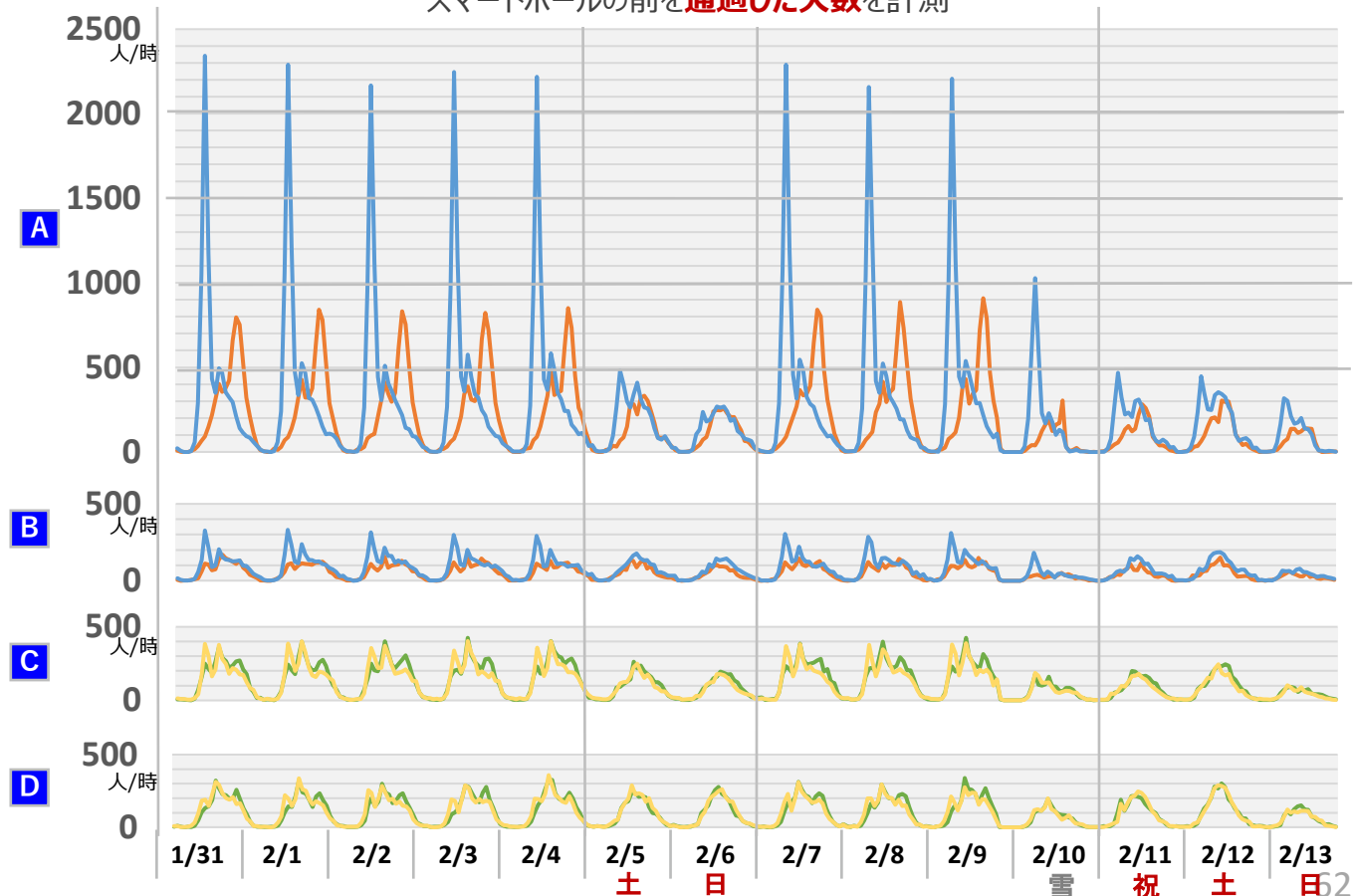


1. スマートポールの面的設置(取得データの活用①)

4号街路(東西)は通勤・帰宅ピークが顕著なオフィス街の特徴。公園付近は人流減。

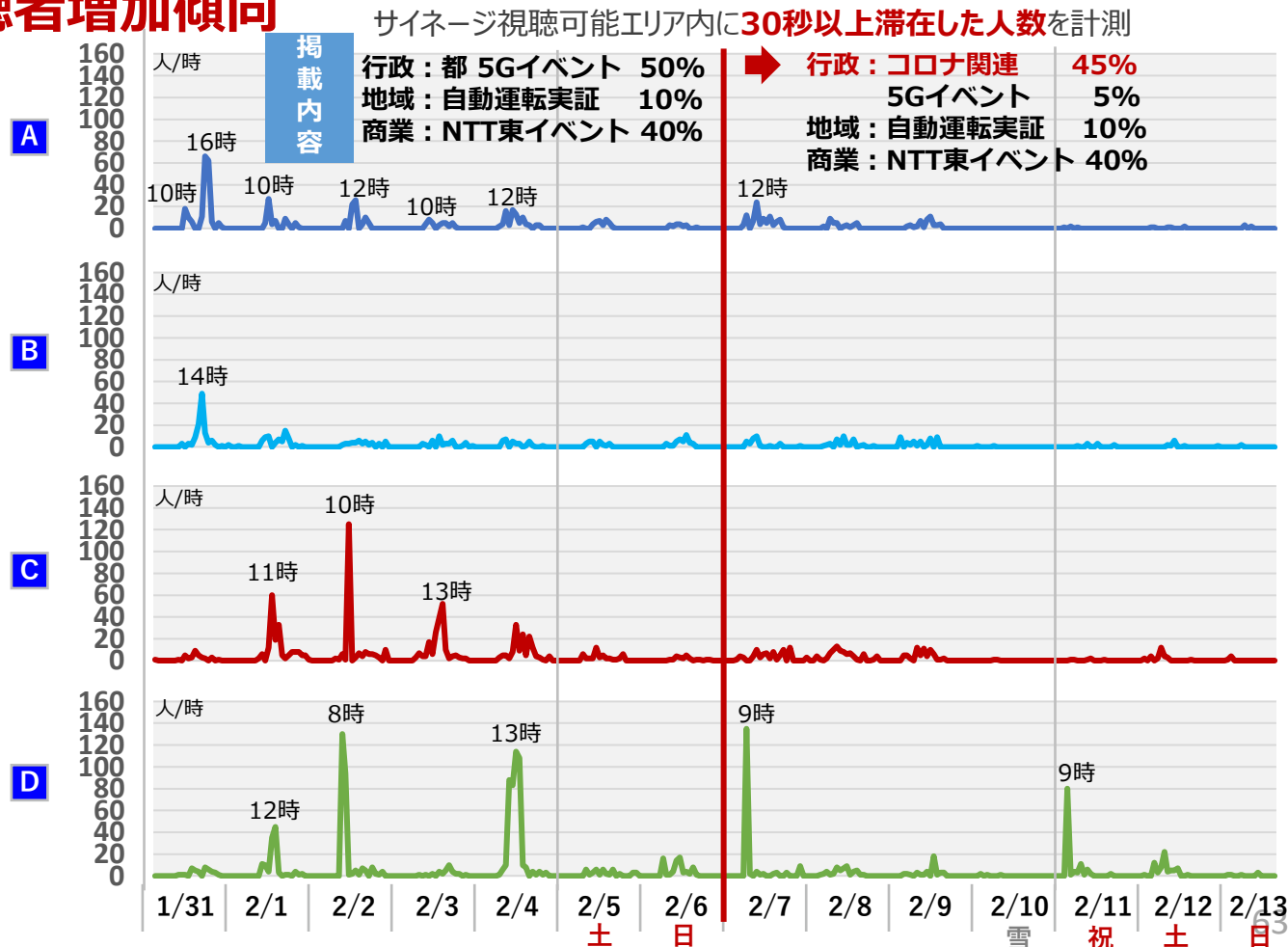
LOVE(南北)は通勤・昼食、商店街付近(南北)は昼食がピークで来街者混在の特徴

スマートポールの前を通過した人数を計測



1. スマートポールの面的設置(取得データの活用②)

4号街路より、8、9号街路の方が**立ち止まる傾向**。掲出内容を変更後、
平日・休日の各**初日に視聴者増加傾向**



2. 5G等活用サービス実証

公募により採択した8者によるスマートシティサービスの実証を実施（1/2）

自動追従台車による配送 株式会社NH研究所



【概要】

自動で人を追従する台車が、西新宿の街を走行し、弁当やベンチ等のサービスを提供

【実施内容】

- ① 弁当の購入/ベンチ等の利用
- ② 自動追従台車走行の見学



自動走行ロボットによる配送 株式会社ティアフォー



【概要】

自動走行ロボットが、ハイアットリージェンシーから新宿中央公園へ料理等を配送

【実施内容】

- ① 自動配送ロボット走行やサービス配送の見学
- ② 自動配送ロボット走行の見学



ARを活用した移動支援 株式会社JTOWER



【概要】

地下から地上までのARを活用したナビゲーションや、AIサイネージ等による混雑情報を提供

【実施内容】

地下道から都庁舎へのARによるナビゲーション



ARナビゲーションアプリ 株式会社ビーブリッジ



【概要】

ARキャラクターによるスポット案内や道案内を提供。VRによるバーチャル観光のデモを実施

【実施内容】

- ① ARナビゲーションアプリによる道案内
- ② スマートグラスを使ったARナビ



2. 5G等活用サービス実証

公募により採択した8者によるスマートシティサービスの実証を実施（2/2）

乗換案内スマートシティモード ジョルダン株式会社



【概要】

乗換案内アプリに西新宿モードを搭載し、地域情報やスマートポールを活用したAR標識を提供

【実施内容】

- ①乗換案内アプリの西新宿モードで、地域情報や混雑情報の取得
- ②AR標識による道案内



次世代Wi-Fi・多言語会話 シスコシステムズ合同会社



【概要】

安全性が高い高速通信Wi-Fi、リアルタイム多言語翻訳付き映像コミュニケーションを提供

【実施内容】

安全性が高く、一度の登録で対応するすべてのWi-Fiスポットに自動接続できるWi-Fiを体験



オンライングループワーク環境 株式会社KDDI 総合研究所



【概要】

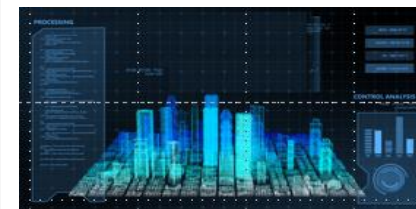
高画質の360度映像や音のVRで臨場感のあるオンライングループワーク環境を提供

【実施内容】

屋外ワークスペースにて新しい遠隔会議のデモ



街の情報の見える化 Fullon株式会社



【概要】

GPSが届かない地下等も含めた人流を把握し、西新宿エリアの混雑状況を可視化

【実施内容】

西新宿エリアを利用する方が混雑を避けて行動することや賑わい状況の可視化



3. 自動運転

目 的

・輸送ニーズが高い地域特性を持ち、かつ、「スマート東京先行エリア」として先行的に5Gを整備している西新宿エリアにおいて、5Gを活用した自動運転移動サービスの早期事業化を目指した実証を支援することで、西新宿での早期社会実装及び都内他地域等への展開を促進する

概要・実施者

【テーマ】 都心部特有の自動走行困難な
営業ルートでの自動運転バス運行実証

【プロジェクト実施者】 京王電鉄バス株式会社

京王バス株式会社 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社京王エージェンシー /
日本モビリティ株式会社 / ソフトバンク株式会社 / あいおいニッセイ同和損
害保険株式会社 / MS&ADインターリスク総研株式会社 ほか

【主な実施概要】

- ・車外カメラ画像やセンサー情報を5Gの大容量通信で送信し、遠隔監視に活用
- ・顔認証情報を5Gの低遅延通信で送受信し、将来の運賃収受サービスの検証等に活用
- ・アプリを活用して自動運転バスの位置情報や車内混雑情報をリアルタイムで提供

【実験車両概要】

- ・日野ポンチョロング2ドアをベースとした自動運転バス
- ・従来の自動走行機能(GNSSやLiDARのスキャンマッチング機能)に加え、LiDARの白線・緑石認識機能を高度化



※写真は車両イメージであり、
実際に使用する車両とは異なります。

【実施日】

令和4年1月8日(土)から1月25日(火)まで
[1月15日(土)、1月16日(日)、
1月20日(木)、1月21日(金)を除く。]

【実施予定箇所】

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～
都議会議事堂 ～ 新宿駅西口

【テーマ】 まちのインフラと協調した
自動運転サービスの運行実証

【プロジェクト実施者】 大成建設株式会社

株式会社ティアフォー / 損害保険ジャパン株式会社 / KDDI株式会社 /
アイサンテクノロジー株式会社 / 日本信号株式会社 / 大成ロテック株式会社
/ 株式会社プライムアシスタンス

【主な実施概要】

- ・信号や道路等に設置したセンサー情報を5Gの低遅延通信で送信し、走行支援に活用
- ・非GPS環境であるトンネルの壁面改良による自車位置推定の精度を向上
- ・カメラ画像や車両情報を5Gの大容量低遅延通信でコネクテッドサポートセンターへ送信し、複数台同時の遠隔見守りに活用

【実験車両概要】

- ・トヨタJPN TAXI 匠をベースとした自動運転車両
- ・LiDARのスキャンマッチング等による自動走行機能に加え、インフラ支援情報による走行性向上、路上駐車回避機能等を拡充



【実施予定時期】

令和4年1月22日(土)から2月4日(金)まで
[1月24日(月)、1月25日(火)、
1月29日(土)、1月30日(日)を除く。]

【実施予定箇所】

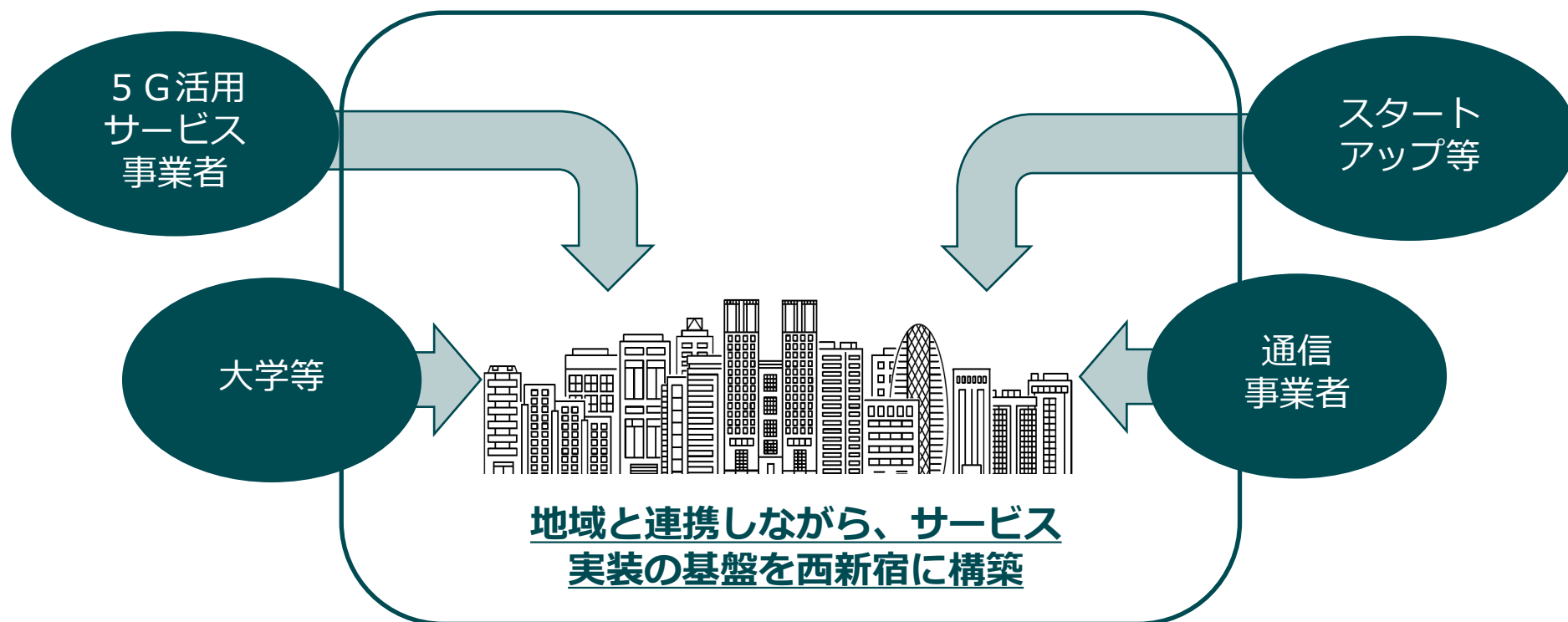
- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～ 新宿駅西口

【実施パートナー】

- ・小田急電鉄株式会社

令和4年度の新たな取組

西新宿に多様な主体が集積する**コンソーシアム**を組成し、
継続的に新たなサービスが創出されるエコシステムを構築



令和4年度の新たな取組

コンソーシアム参画事業者に対し、
サービスの実装に向けた各種支援を実施

支援メニュー（例）



サービス実施に係る
申請ワンストップ窓口

アクセラレーターによる
事業者間マッチング



サービス開発費の助成

各サービスの
プロモーション



令和4年度の新たな取組

大学等とコンソーシアムが連携し、 大学生等を対象としたDX人材創出に向けた取組を実施

大学生等を対象としたDX人材創出

大学研究室等への サービス実装支援

- 大学の研究室等の最先端技術を活用したサービス開発に対する助成を実施

学生による アイデアコンテスト

- デジタル技術で地域課題を解決するアイデアを学生から募りコンテストを実施

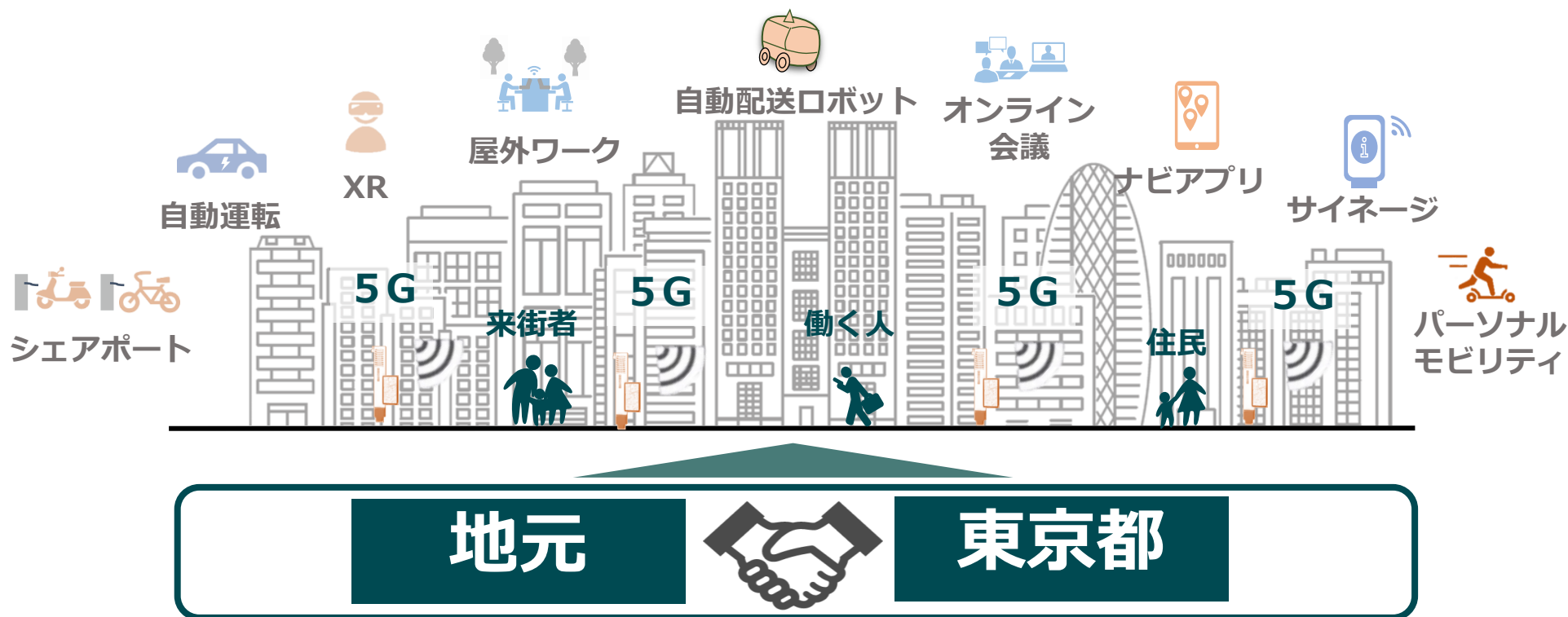
大学生向け DX講座・インターン

- 基礎的なDX講座・ビジネス講座を実施
- コンソーシアム参画事業者等へのインターンシップを実施



令和4年度の新たな取組

西新宿から多様なサービスを展開
サービスの都市実装を加速し、スマート東京を実現



課題解決PT：今年度の取組結果サマリ・来年度の取組方針（案）

来年度はプロジェクト間連携や新規プロジェクトの組成を予定

今年度の取組結果サマリ

来年度の取組方針（案）

課題
解決
PT

課題解決PJ
(テーマ①～④)

【既存PJ推進】

- コロナ禍で各種取り組みの実施が制限される中、各PJリーダーが主体的に計7件の中長期PJを推進頂き、エリアにおける課題解決に貢献した（詳細結果については各PJ資料のKPI等を参照）

【新規PJ募集】

- 3つの新規PJの組成を通じて、認知度向上や参加促進に向けた対外発信力を強化した（ジョルテ、角川アスキー総合研究所、レスターエレクトロニクス）

- 仮説検証PTのアンケート結果を踏まえたPJ計画の更新とPJ間の連携強化による課題解決の推進

アンケート結果による優先課題の更新案は後述

- 新たな優先課題やエリア内の既存の取組の巻き込みに向けた新規PJの組成

都市OS検討PT：今年度の取組結果サマリ・来年度の取組方針（案）

来年度はエリアOSの機能改善、スマートシティ運営の体制・ルール検討等を予定

今年度の取組結果サマリ

来年度の取組方針（案）

都市 OS 検討 PT	エリアOSの 実証	【エリアOS】 ■ 移動をテーマとしたエリアOSの3つのユースケースについて基本機能を構築 ■ エリアOSの検証を行い、ユーザー目線での利便性や改善が必要な課題について把握した	■ 検証結果を踏まえた機能改善やユースケースの実現に必要なデータ拡充のため、データ収集・連携において想定される課題解消への取組
	運営のための 体制・ルール	【組織体制】 ■ エリアにおけるスマートシティ運営に必要な11機能と機能実現に向けた推進主体と役割分担の考え方の素案を整理・共有した	■ スマートシティ運営に伴う付加価値と享受先に関する全体像の把握と各推進主体における役割分担の検討
		【運用ルール】 ■ エリア内のオープンスペースを利活用するためのフローを3つのユーザーストーリーに基づき整理した（データ収集・掲載、利活用調整、利活用申請）	■ 更なるデータの収集・掲載やオープンスペースの利活用を促進するためのインセンティブ設計等のルールの検討

6.【仮説検証PT】

課題調査結果・来年度の取組方針の報告

仮説検証PTの実施方針

今年度のアンケート結果と来年度方針案について報告

ミッション	■ 課題の解決状況（＝ニーズの充足状況）を最新化し、優先的に解決すべき課題を明らかにすること ■ 課題解決に向けた課題ごとのターゲット層を確認すること ■ 課題解決の取組による効果を検証すること
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー
実施事項	■ 課題把握アンケート ➢ アンケート①：生活者の課題調査（R2年度から継続） ➢ アンケート②：コミュニティへの参加ニーズ調査（新規） ➢ アンケート③：商店街・テナントの課題調査（新規） ■ 効果検証アンケート ➢ アンケート④：取組全体・取組毎の効果検証（R2年度から継続）

	4月	協議会 (第1回)	10月	協議会 (第2回)	12月	協議会 (第3回)	2月	協議会 (第4回)
スケジュール ・主な アジェンダ	■ 課題解決テーマ別の課題詳細分析結果共有 ■ 課題調査方針の共有 ■ 年間スケジュールの共有		■ 商店街・テナントの課題調査設計及び調査状況の報告（アンケート③） ■ Well-Being指標の活用検討結果の共有		■ 生活者の課題調査方針の共有（アンケート①・②） ■ 商店街・テナントの課題調査状況の共有（アンケート③） ■ 効果検証アンケートの調査方針の共有（アンケート④）		■ 生活者の課題調査結果の共有（アンケート①・②） ■ 商店街・テナントの課題調査結果の共有（アンケート③） ■ 取組全体・取組毎の効果検証結果の共有（アンケート④） ■ 来年度方針案の共有	

本日で報告

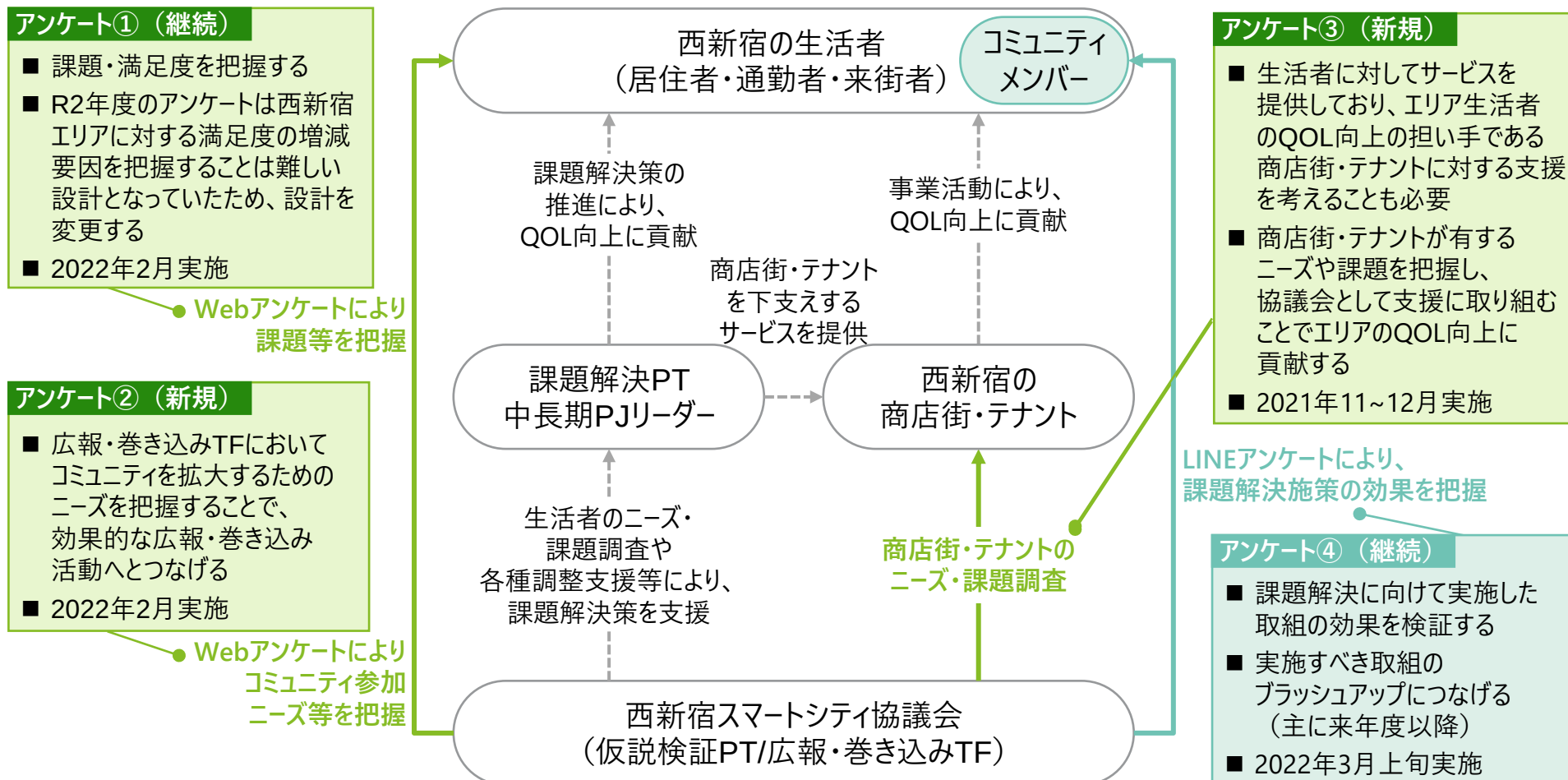
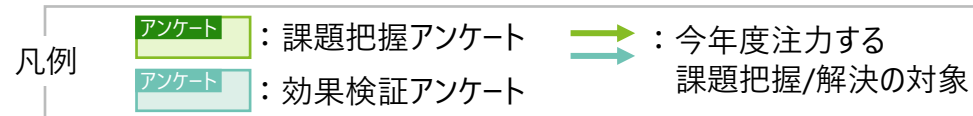
R3年度の課題把握アンケート実施方針（1/2）

西新宿の生活者や商店街・テナントを対象にアンケート調査を実施

	課題把握アンケート			効果検証アンケート
	アンケート① 西新宿における 課題の把握	アンケート② 西新宿における コミュニティ参加ニーズの把握	アンケート③ 西新宿の商店街・テナント における課題の把握	アンケート④ 取組全体・取組毎の 効果検証
目的	■ 西新宿における優先課題の更新を行うこと ■ エリア満足度の状況を確認し、その要因を把握すること	■ 西新宿の生活者がコミュニティメンバーに移行するうえで有効な巻き込み策を把握すること	■ 西新宿の企業・団体目線で解決すべき課題を把握すること	■ 課題解決に向けて実施した取組の効果を検証すること ■ 実施すべき取組のブラッシュアップにつなげる（主に来年度以降）
対象者	■ 西新宿の生活者（居住者・通勤者・来街者）		■ 西新宿の商店街・テナント等	■ コミュニティメンバー
調査内容	■ 西新宿に対する満足度 ■ 西新宿における課題 ■ エリアのイメージ	■ コミュニティへの参加ニーズ（コミュニティに求める取組）	■ 西新宿における事業活動上のニーズ・課題	■ 取組に対する満足度 ■ 取組に対するニーズ
調査方法	■ Webアンケート調査を実施 ※共同で実施		■ インタビュー調査を実施した後にアンケート調査を実施	■ LINEアンケートを実施
時期	■ 2022年2月		■ 2021年11～12月	■ 2022年3月上旬

R3年度の課題把握アンケート実施方針（2/2）

エリアのQOL向上を目指し、西新宿の生活者に加え、商店街・テナントの課題把握を実施



生活者の課題調査の実施結果 (アンケート①・②)

アンケート①・②の調査概要

課題解決状況とコミュニティへの参加ニーズの把握を目的に生活者にWebアンケートを実施

	アンケート①（Web）	アンケート②（Web）
目的	■ 西新宿における<u>優先課題の更新に向けた状況を把握</u>する ■ 西新宿の<u>満足度を確認し、その要因を把握</u>する	■ 西新宿の<u>生活者</u>（居住者・通勤者・来街者）が<u>コミュニティメンバーに移行するうえで有効な巻き込み策を把握</u>する
方針	■ 生活者の優先課題候補の充足度を5段階評価で測定し、優先課題の更新に向けた検討を行う ■ 課題分類毎（遊ぶ、働く等）の満足度と優先課題候補の充足度を比較し、自由記述形の回答に基づきその他の要因を把握する	■ 協議会HPやLINE公式アカウントの認知度を測定することで既存の情報発信施策の効果検証を行うと共に、生活者がコミュニティメンバーとして取り組みたい活動を把握することで今後の施策の検討材料とする
実施期間*1	■ <u>2022年2月7日～2月18日</u>	
対象者	■ <u>西新宿の生活者</u> （協議会構成員各社・団体の社職員、 <u>コミュニティメンバー</u> *2、一般モニター）	
スクリーニング条件	■ 居住者：西新宿1～8丁目*3に住んでいる方 ■ 通勤者：西新宿1～8丁目*3に勤めている方 ■ 遊び目的の来街者：西新宿エリアに遊び目的で月1回以上訪れている方 ■ ビジネス目的の来街者：西新宿エリアにビジネス目的で月1回以上訪れている方	
回答者数	■ <u>2,520人</u>	
アンケート項目	【西新宿の課題】 ■ 優先課題候補の充足度 （例）「西新宿では、「屋外で働く環境」について、どの程度充足していると思われるかをご回答ください」 【西新宿の満足度】 ■ 西新宿の「働く」、「暮らす」、「遊ぶ」、「交流」、「移動」、「情報収集」環境の満足度 （例）「働く環境としての西新宿の満足度をご回答ください」	【情報発信媒体の認知度】 ■ 広報・巻き込みTFで取り組んでいるHPやLINEの認知度 ■ 「西新宿 Smart City WEEK 2022」の認知度 【コミュニティへの参加ニーズ】 ■ 生活者がコミュニティメンバーとして取り組みたい活動 【取組の認知度・体験率】 ■ 課題解決PTにおける取組内容の認知度と体験有無

*1：アンケート①・②は同時に実施

*2：650名（2022年2月5日時点）

*3：N数確保のため7、8丁目を追加

優先課題の更新に向けた検討手順

アンケート結果を基に、本協議会が解決を目指すべき優先課題をR3年度版に更新

凡例 緑字：新たに設定した優先課題

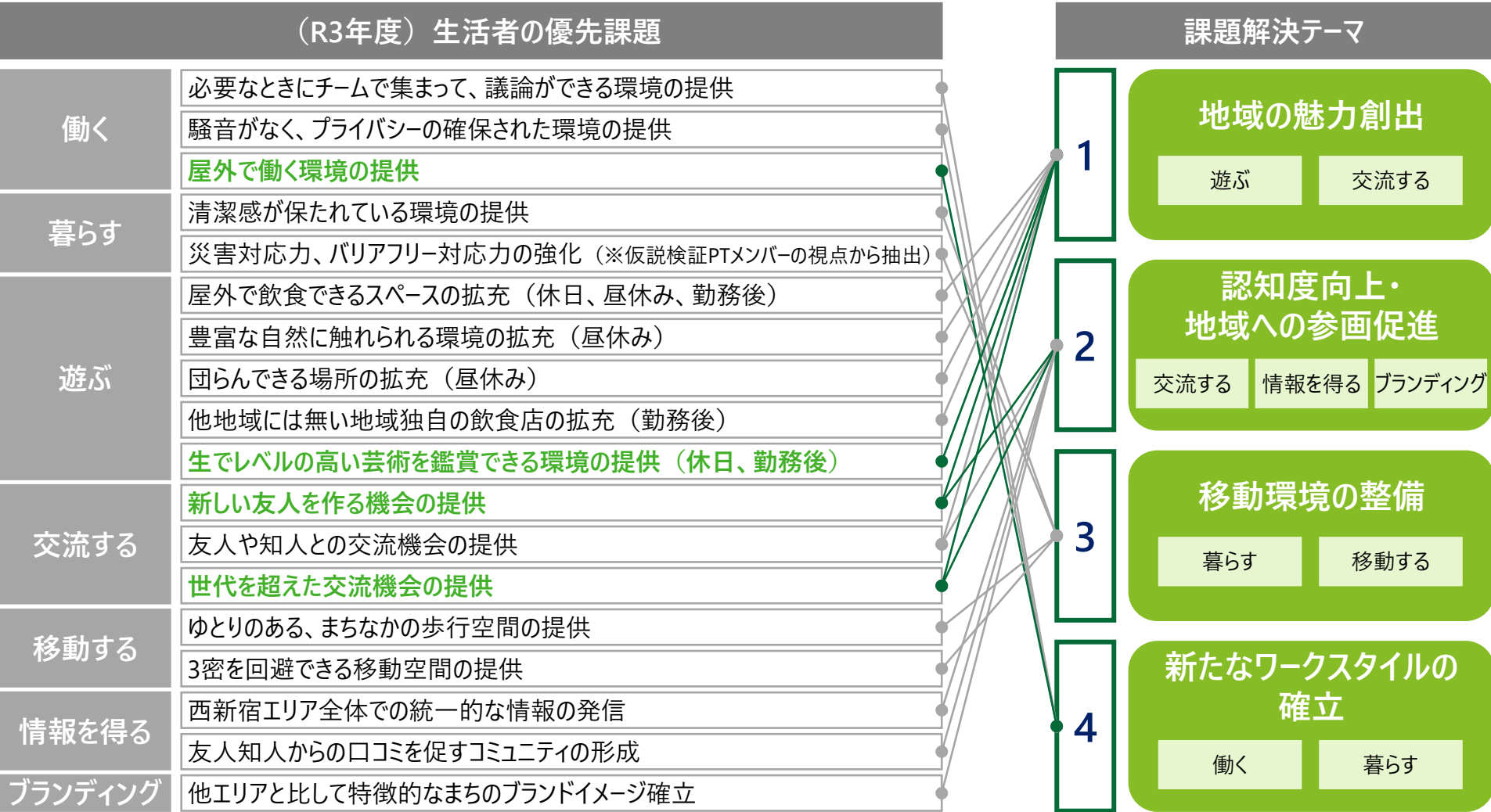
	1 追加検討すべき優先課題の抽出 (充足度スコア：低)	2 削除検討すべき優先課題の抽出 (充足度スコア：高)	3 優先課題の整理と 課題解決テーマとの紐づけ
実施内容	■ アンケートにて優先課題候補の充足状況を5段階評価で回答いただき、充足度スコア（加重平均値*1）を算出 ■ 充足度スコアが低い優先課題候補（ワースト5位程度）を、新たに優先課題として追加を検討	■ R2年度に設定された優先課題の内、充足度スコアが高い項目（ベスト5位程度）に対して優先課題からの削除を検討 ※ 経年での評価結果や環境整備の状況を踏まえて判断する ⇒今年度は優先課題の削除は行わない	■ 追加・削除を含めて優先課題一覧を整理し、課題解決テーマとの紐づけを実施 ※ 課題解決PT（中長期PJ等）へのインプットを通じて解決を促す
結果	追加検討すべき優先課題 ・ 屋外で働く環境の提供 ・ 生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供（休日、勤務後） ・ 新しい友人を作る機会の提供 ・ 世代を超えた交流機会の提供	削除検討すべき優先課題 — (抽出は行ったが、経年評価結果等にて判断)	課題解決テーマとの紐づけ 【テーマ①】地域の魅力創出 ・ 生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供（休日、勤務後） ・ 新しい友人を作る機会の提供 ・ 世代を超えた交流機会の提供 【テーマ②】認知度向上・地域への参画促進 ・ 新しい友人を作る機会の提供 ・ 世代を超えた交流機会の提供 【テーマ④】新たなワークスタイルの確立 ・ 屋外で働く環境の提供

*1：「充足している」を5点、「充足していない」を1点とした5段階評価に各回答者数を掛け合わせた加重平均値

優先課題の更新案と課題解決テーマ

アンケート結果を基に新たに抽出した優先課題を追加し、課題解決テーマに紐づけ

凡例 緑字：新たに設定した優先課題

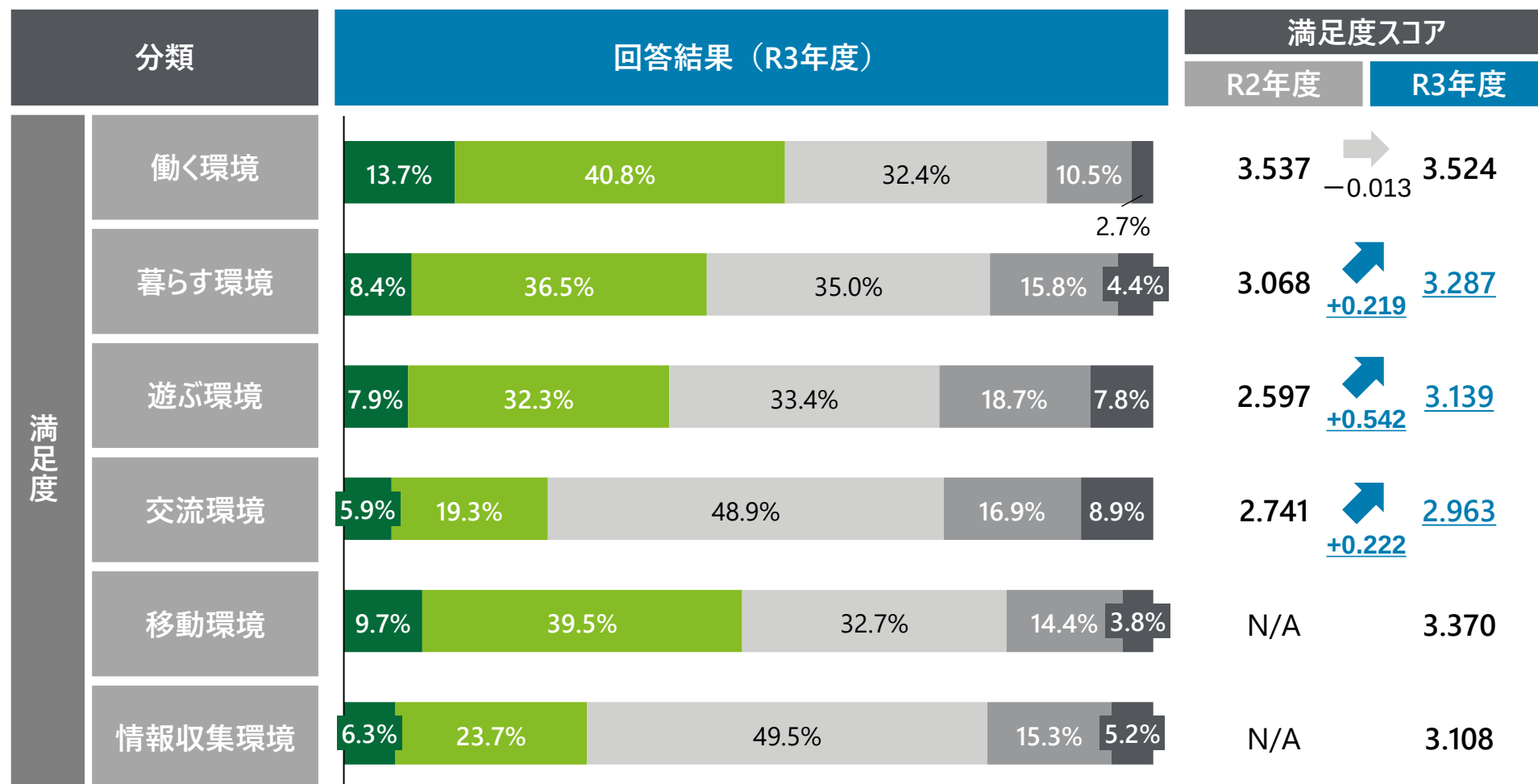


各環境に対する満足度

昨年度と比較すると、「暮らす」・「遊ぶ」・「交流」環境の満足度スコアが増加

凡例
■ 満足している ■ どちらでもない ■ 満足していない
■ やや満足している ■ あまり満足していない

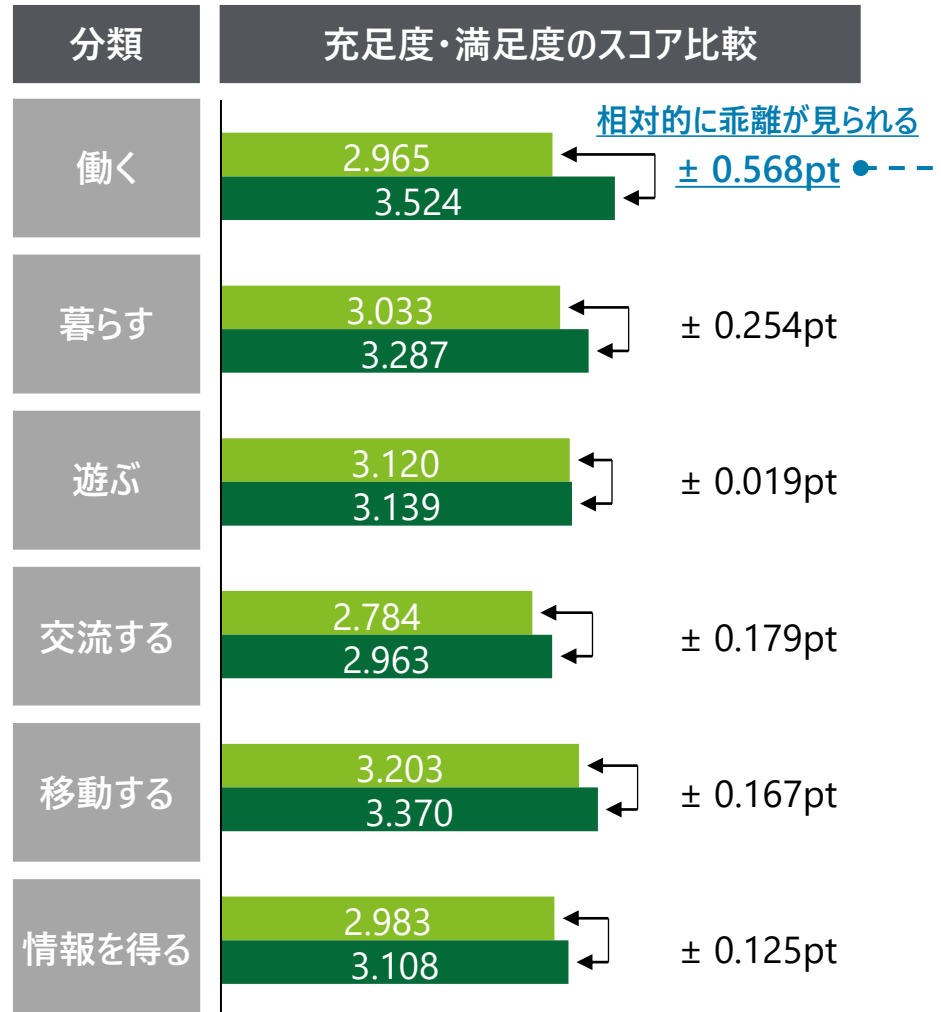
N数（R2）：2,002（働く）、2,059（働く以外）
 N数（R3）：2,176（働く）、2,520（働く以外）
 回答方法：単一選択



満足度の増減要因（想定）

特に「働く」ではニーズ充足度と満足度に相対的に乖離があり、他の要因も存在すると推察

凡例 ■ 分類毎の充足度スコア ■ 分類毎の満足度スコア



優先課題候補以外の「働く」環境の満足度の増減要因

- 「充足度スコア」と「満足度スコア」の間に
想定的に乖離が見られるため、優先課題候補以外の
要因が「働く」環境に影響していると推察

- 優先課題候補以外の要因としては、自由記述形式の
設問で得られた下記の回答も考えられるのではないかと

Q1_2.

働く環境を向上するために、上記以外で改善を図って
ほしいものがあればご回答ください

【回答抜粋】

- 安全なフリーWi-Fiの整備
- ランチのできる飲食店、飲食スペースの拡充
- 誰でも利用可能な休憩スペースの確保
- 交通利便性の改善
- テレワーク環境の整備
- 道路や庁舎内での混雑の改善

アンケート①・②の調査概要

課題解決状況とコミュニティへの参加ニーズの把握を目的に生活者にWebアンケートを実施

	アンケート① (Web)	アンケート② (Web)
目的	■ 西新宿における<u>優先課題の更新に向けた状況を把握</u>する ■ 西新宿の<u>満足度を確認し、その要因を把握</u>する	■ 西新宿の<u>生活者</u>（居住者・通勤者・来街者）が<u>コミュニティメンバーに移行するうえで有効な巻き込み策を把握</u>する
方針	■ 生活者の優先課題候補の充足度を5段階評価で測定し、優先課題の更新に向けた検討を行う ■ 課題分類毎（遊ぶ、働く等）の満足度と優先課題候補の充足度を比較し、自由記述形の回答に基づきその他の要因を把握する	■ 協議会HPやLINE公式アカウントの認知度を測定することで既存の情報発信施策の効果検証を行うと共に、生活者がコミュニティメンバーとして取り組みたい活動を把握することで今後の施策の検討材料とする
実施期間*1	■ <u>2022年2月7日～2月18日</u>	
対象者	■ <u>西新宿の生活者</u> （協議会構成員各社・団体の社職員、 <u>コミュニティメンバー</u> *2、一般モニター）	
スクリーニング条件	■ 居住者：西新宿1～8丁目*3に住んでいる方 ■ 通勤者：西新宿1～8丁目*3に勤めている方 ■ 遊び目的の来街者：西新宿エリアに遊び目的で月1回以上訪れている方 ■ ビジネス目的の来街者：西新宿エリアにビジネス目的で月1回以上訪れている方	
回答者数	■ <u>2,520人</u>	
アンケート項目	【西新宿の課題】 ■ 優先課題候補の充足度 （例）「西新宿では、「屋外で働く環境」について、どの程度充足していると思われるかをご回答ください」 【西新宿の満足度】 ■ 西新宿の「働く」、「暮らす」、「遊ぶ」、「交流」、「移動」、「情報収集」環境の満足度 （例）「働く環境としての西新宿の満足度をご回答ください」	【情報発信媒体の認知度】 ■ 広報・巻き込みTFで取り組んでいるHPやLINEの認知度 ■ 「西新宿 Smart City WEEK 2022」の認知度 【コミュニティへの参加ニーズ】 ■ 生活者がコミュニティメンバーとして取り組みたい活動 【取組の認知度・体験率】 ■ 課題解決PTにおける取組内容の認知度と体験有無

*1：アンケート①・②は同時に実施

*2：650名（2022年2月5日時点）

*3：N数確保のため7、8丁目を追加

アンケート②の調査結果

コミュニティメンバーの拡大には、生活者のニーズに即した広報・巻き込み施策が必要と推察

凡例 はい いいえ

N数（R3）：2,520

回答方法：単一選択（Q8、9、10）、複数選択（Q12）

	設問*1 (一部抜粋)	回答結果	クロス分析の観点		
			年代×性別	結婚×子持ち	通勤時間
西新宿 スマートシティ 協議会の 情報発信媒体の 認知度を 把握すること	Q8. 西新宿スマートシティ協議会の HPを閲覧したことがありますか	15.8% 84.2%	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない
	Q9. 西新宿スマートシティ協議会の LINEをご存知ですか	12.3% 87.7%	40代女性の 認知度が低い	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない
	Q10. 「西新宿Smart City WEEK 2022」 をご存知でしたか	14.3% 85.7%	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない	通勤時間が長い人 (71～80分内) の認知度が低い
コミュニティへの 参加ニーズを 把握すること コミュニティ メンバーに 対しても VOICEで 実施する想定	Q12. どのような機会があれば 西新宿スマートシティ 協議会のコミュニティ に入りたいと思いますか	• 普段の生活やビジネスに 生かすことができる 知見を得られる機会	30代男性、40代 女性のニーズが多い	属性によって 差異はみられない	51～60分の人の ニーズが多い
		• 西新宿におけるスマート シティの取組に関して 理解を深められる機会	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない	属性によって 差異はみられない
		• コミュニティメンバー 同士が繋がれる機会	20代男女の ニーズが多い	未婚のニーズが多い	通勤時間が短い (21～40分内)
		• 自分の意見を西新宿 スマートシティ協議会の 取組に反映できる機会	20代男性の ニーズが多い	属性によって 差異はみられない	20分以下の人の ニーズが多い
		• その他	地域で使えるポイント等の還元、地域への貢献・成果が 理解できる機会について要望があった		

*1：Q1～7は西新宿の環境への充足度及び都心主要エリアのイメージに関する設問を、Q11は西新宿の課題解決への取組に対する認知度・体験率に関する設問を設定

商店街・テナントの課題調査の実施結果 (アンケート③)

アンケート③の調査概要

商店街・テナントの優先課題を導出するべくアンケートを実施

	アンケート③
目的	■ 西新宿の <u>商店街・テナントが抱える課題を導出</u> する
方針	■ デスクトップ調査・インタビュー調査を通して得られた商店街・テナントが抱える課題仮説を定量的に評価し、特に課題として挙げた上位2項目を優先課題として導出する
実施期間 ^{*1}	■ <u>2021年11~12月</u>
対象者	■ <u>西新宿の商店街店舗</u> ■ <u>西新宿のテナント／ビルオーナー</u>
回答数	■ <u>65件</u>
アンケート項目	【属性調査】 ■ 所属する商店街・施設、業種、他地域展開の有無 【西新宿の課題】 ■ 西新宿におけるwith/afterコロナを踏まえたビジネス環境の課題 ➢ 「<u>調達・物流</u>」の観点で特に感じている課題は何か ➢ 「<u>マーケティング</u>」の観点で特に感じている課題は何か ➢ 「<u>販売</u>」の観点で特に感じている課題は何か ➢ 「<u>活動基盤</u>」の観点で特に感じている課題は何か

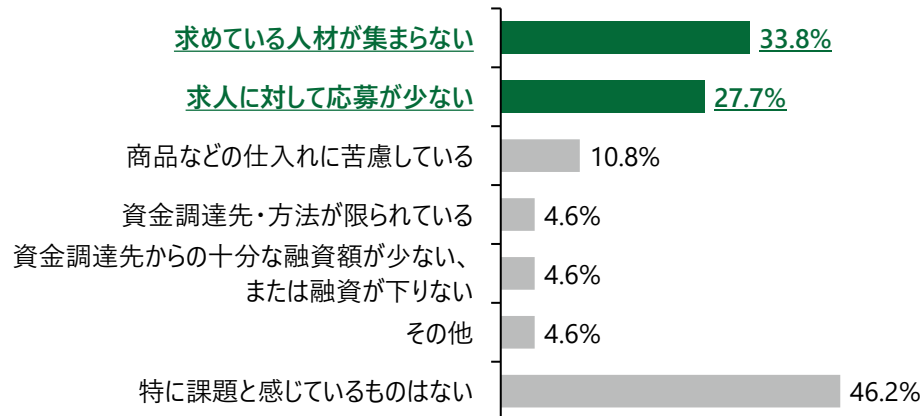
商店街・テナントにおける優先課題の導出（単純集計結果）

各設問の上位2項目を商店街・テナントの優先課題として導出

N=65、複数回答（2つまで）

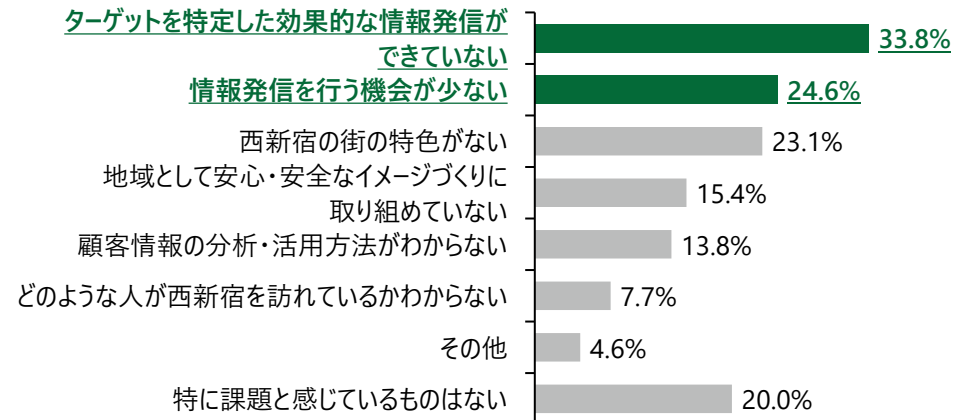
調達・物流

— Q4. 調達・物流などに関して感じている課題をご回答ください —



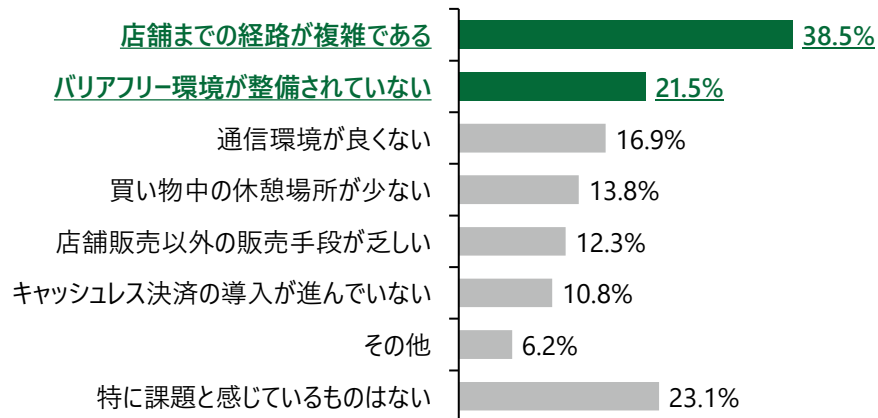
マーケティング

— Q5. お店の情報を発信し、
お客様を呼び込む上での課題をご回答ください —



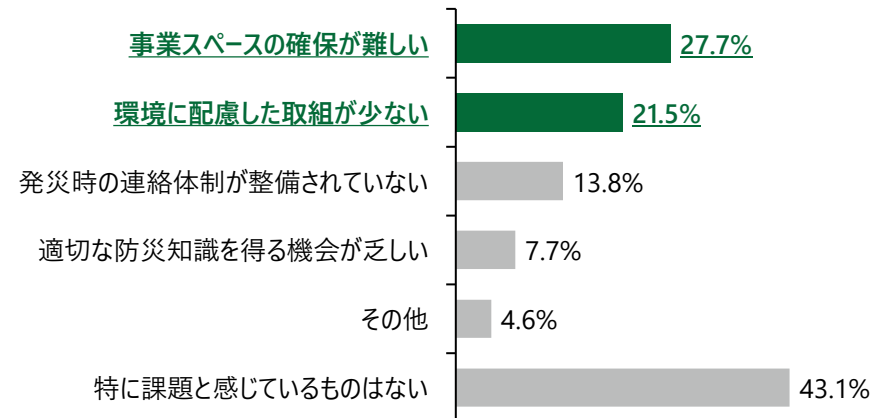
販売

— Q6. お客様が、お店にたどり着き、
商品・サービスを購入するまでに抱える課題をご回答ください —



活動基盤

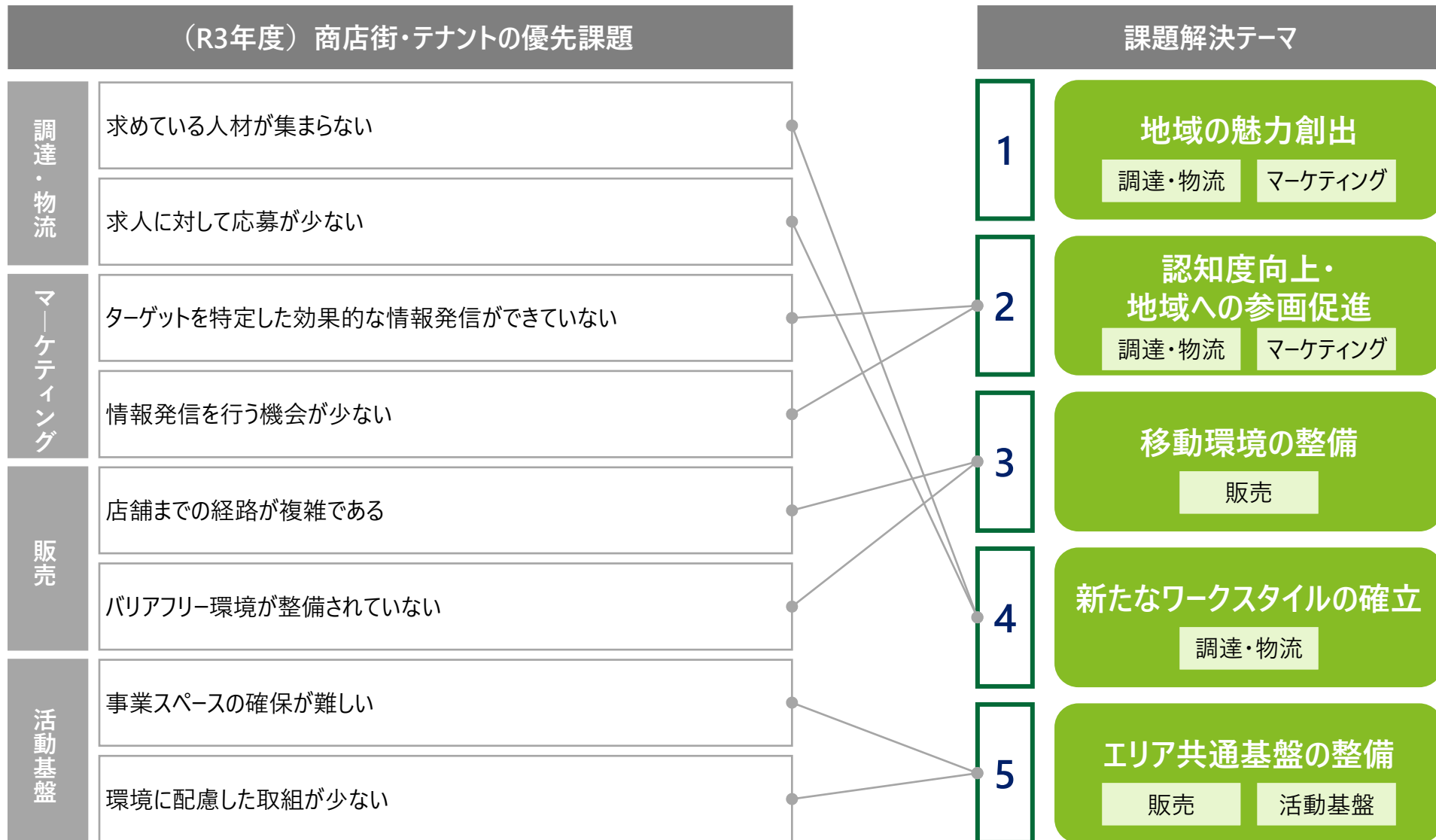
— Q7. 西新宿で商売を行う活動基盤上の
課題をご回答ください —



*：Q1～3は属性情報（所属する商店街、施設、業態、他地域展開の有無）に関する設問を設定

優先課題と関連する課題解決テーマ

抽出した商店街・テナントの優先課題を、親和性の高い課題解決テーマと紐づけ



効果検証アンケートの実施結果 (アンケート④)

アンケート④の調査概要

今年度実施した取組の効果を検証するため、コミュニティメンバーにアンケートを実施

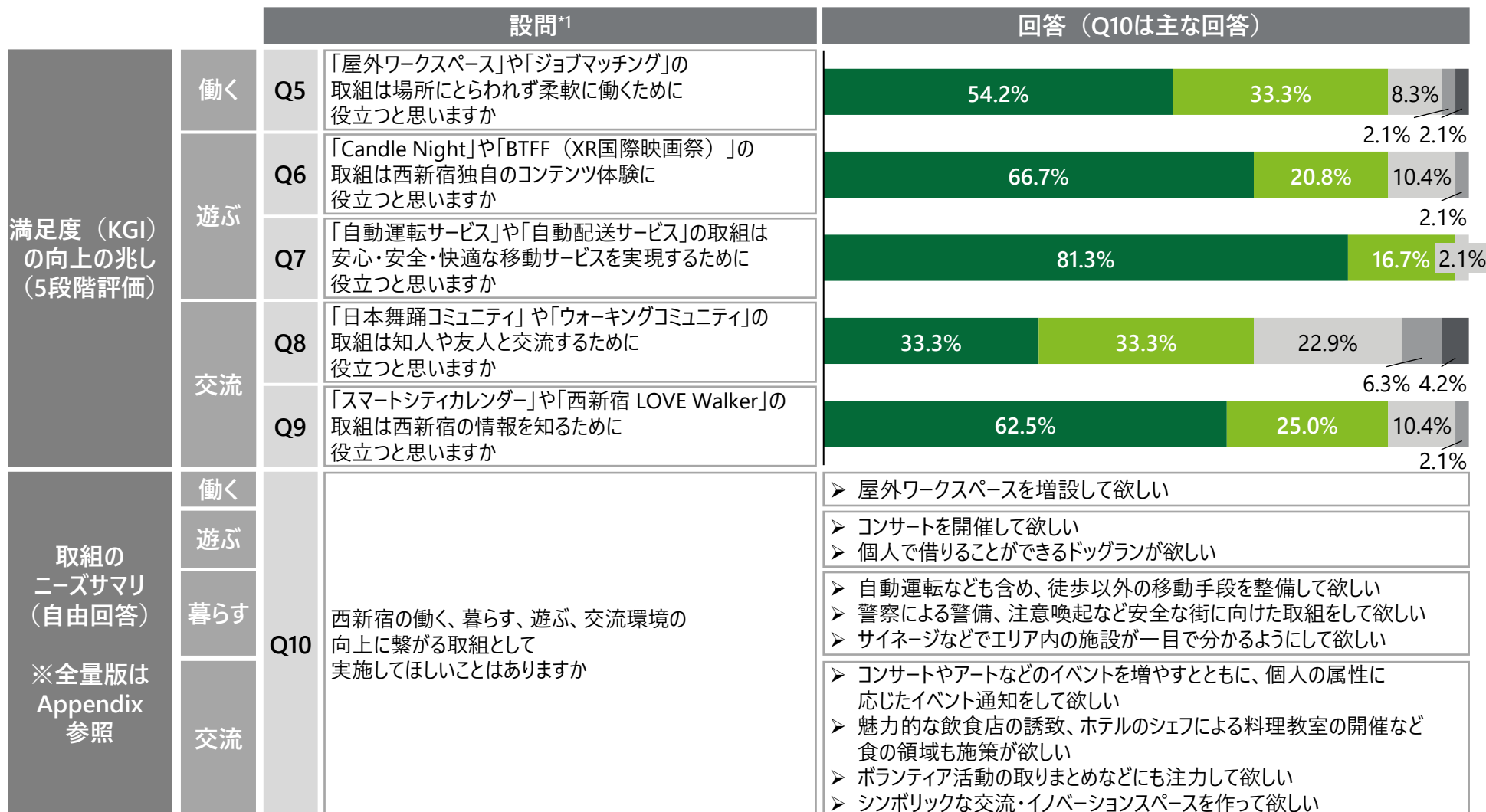
アンケート④（LINE）	
目的	■ 課題解決に向けて<u>実施した取組みの効果を検証し、来年度以降、実施すべき取組のブラッシュアップ</u>につなげる
方針	■ <u>今年度実施した取組内容が「働く」、「遊ぶ」、「交流」環境の向上に繋がっているかを検証</u>する ➢ ユーザーの回答のしやすさを考慮し、取組に紐づく課題ベースで設問を設定 ➢ 「暮らす」に関しては今年度の取組内容に含まれないためLINEアンケートの設問には設けない
実施期間	■ <u>2022年3月8日～13日</u>
対象者	■ <u>コミュニティメンバー</u>（LINE公式アカウントの友だち*1） ※LINE公式アカウントのアンケート機能を活用して実施
回答者数	■ <u>48人</u>
回答率	■ 6.4 %

*1：755名（2022年3月5日時点）

効果検証アンケートの調査結果サマリ

協議会の課題解決に向けた取組全般について、肯定的な回答が得られた

N数：48、回答方法：単一選択（Q5～9）、自由記述（Q10）



*1：Q1～4は属性情報（年代、性別、居住地、回答者のカテゴリ）に関する設問を設定

アンケートサマリと来年度の取組方針案

今年度の生活者と商店街・テナント向けアンケートの結果を踏まえて優先課題を更新予定

テーマ	生活者の優先課題	商店街・テナントの優先課題
①地域の魅力創出	- 屋外で飲食できるスペースの拡充 - 豊富な自然に触れられる環境の拡充 - 団らんでできる場所の拡充 - 他地域には無い地域独自の飲食店の拡充 - 生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供 - 新しい友人をつくる機会の提供 - 友人や知人との交流機会の提供 - 世代を超えた交流機会の提供	-
②認知度向上・地域への参画促進	- 新しい友人をつくる機会の提供 - 友人や知人との交流機会の提供 - 世代を超えた交流機会の提供 - 友人知人からの口コミを促すコミュニティ形成 - 西新宿エリア全体での統一的な情報発信 - 他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージ確立	- ターゲットを特定した効果的な情報発信 - 情報発信を行う機会の提供
③移動環境の整備	- 災害対応力、バリアフリー対応力の強化 - ゆとりのある、まちなかの歩行空間の提供 3密を回避できる移動空間の提供 - 清潔感が保たれている環境の提供	- 店舗までの移動の円滑化（経路が複雑） - バリアフリー環境の整備
④新たなワークスタイルの確立	- 必要ときにチームで集まって、議論ができる環境の提供 - 騒音がなく、プライバシーの確保された環境の提供 - 屋外で働く環境の提供	- 求人に対する応募数の確保 - 求めている人材の獲得
⑤エリア共通基盤の整備	- エリアに関連する官民データの円滑な共有及び利活用の促進 - エリア内のオープンスペースの利用促進	- 事業スペースの確保 - 環境に配慮した取組の推進

今年度の取組サマリ・来年度の取組方針（案）

来年度は、アンケートで経年比較をしつつ今年度の結果を他PT/TFの活動に活かしていく

今年度の取組結果サマリ

来年度の取組方針（案）

課題把握	アンケート①	■ R2年度に抽出した西新宿の優先課題候補の充足度を把握し、優先課題を更新した ■ 西新宿の満足度を昨年度と経年比較し、またその要因を分析した	■ 今年度と<u>同様の設問設計で調査</u>し、課題の<u>充足度および満足度等を経年比較</u>する ■ 居住者の課題把握のため、<u>SCI*1と連携の上LWC指標*2の活用を検討</u>する
	アンケート②	■ 広報・巻き込みTFとして実施した取組の認知度及び生活者がコミュニティメンバーとして取り組みたい活動を把握した	■ 今年度と<u>同様の設問設計で調査</u>することで、広報・巻き込み<u>活動の効果を検証</u>する ■ 今年度<u>把握したコミュニティメンバーのニーズ</u>を広報・巻き込みTFの<u>活動に活かしていく</u>
	アンケート③	■ 商店街・テナントに対してインタビュー及びアンケートを実施し、事業者目線での西新宿の優先課題を抽出した ■ 優先課題を課題解決テーマと紐づけた	■ 今年度抽出し課題解決テーマと紐づけた<u>優先課題について、中長期PJでの解決</u>を促していく
効果検証	アンケート④	■ 今年度実施した取組内容の効果をコミュニティメンバーに対して調査し、肯定的な意見が多いことを確認した	■ 来年度の中長期PJ（新規PJを含む）に対して<u>同様の設問で調査</u>し、実施すべき<u>取組内容のブラッシュアップ</u>に生かす

*1：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（スマートシティの拡大と高度化を推進するためのナレッジ＆公民学連携プラットフォームとして設立された民間主導の非営利型一般社団法人）
*2：Liveable & Well-Being City指標の略。SCIが提唱するWell-being指標

7. 報告サマリ・意見交換

報告サマリと来年度の取組方針（案）

来年度も西新宿に関わる人のQOL向上に更に貢献すべく、各PT/TFの取組を推進予定

今年度の取組結果サマリ

広報・巻き込みTF

- 「Smart City WEEK 2022」やHP・LINE配信により、協議会の取組への理解促進とコミュニティメンバーの拡大
- 意見交換会やVOICEを通じて、コミュニティメンバーを巻き込みながら意見交換を実施

課題解決PT

- 各PJリーダー主体に計7件の中長期PJを推進し、エリアの課題解決に貢献（詳細は各PJ資料のKPI等を参照）
- 3つの新規PJを組成し、認知度向上や参加促進への対外発信力を強化（スマートシティカレンダー、西新宿LOVE Walker、無人対話型受付案内）

都市OS検討PT

- 移動をユースケースにエリアOSの基本機能の構築・検証を行い、ユーザー目線での利便性や改善課題を把握
- エリアのスマートシティ運営に必要な11機能と機能実現のための推進主体、リソース負担の考え方の素案を整理
- オープンスペース利活用フローを3つのユーザーストーリーに基づき整理（データ収集・掲載、利活用調整、利活用申請）

仮説検証PT

- アンケートを通じて、生活者向けの優先課題のアップデート、及び商店街・テナント向けの優先課題を抽出・整理
- コミュニティメンバーに効果検証アンケートを実施し、来年度以降の取組のアップデートに繋げた

来年度の取組方針（案）

- コミュニティメンバー（オブザーバー）の巻き込み強化に向けた施策の検討
（知見を得られる機会提供、VOICEでアイデア・実証参加募集等）
- HP・LINE配信の継続に加え、中長期PJとの連携による効果的な情報発信（スマシカレンダー、西新宿LOVE Walker）
- 各取組を集中させるイベントを予定

- 仮説検証PTのアンケート結果を踏まえた各PJ計画の更新とPJ間の連携強化による課題解決の推進
- 新たな優先課題やエリア内における既存の取組の巻き込みに向けた新規PJの組成

- 検証結果を踏まえた機能改善やユースケース実現に必要なデータ拡充のため、データ収集・連携において想定される課題解消への取組
- スマートシティ運用に伴う付加価値・享受先に関する全体像の把握と、各推進主体における役割分担の検討
- 更なるデータの収集・掲載やオープンスペース利活用を促進するためのルールの検討（インセンティブ設計等）

- 課題把握アンケートの継続による課題の経年比較と外部団体との連携可能性を検討
- 効果検証アンケートを継続し、中長期PJの取組内容のアップデートに活用

西新宿の課題解決に向けた各プロジェクトの推進に関する意見交換

皆様の忌憚ないご意見をお願いします

討議の 目的	■ 今年度の実施結果を踏まえ、来年度以降の協議会運営に向けて、方針・実施内容についての意見交換を行うこと
討議 したい点	■ 来年度以降の協議会において実施すべき点 ➤ 継続して実施すべき点 ➤ 改善して実施すべき点 ➤ 新たに実施すべき点
ルール	■ ご所属や役職などを忘れ、西新宿に関わる一個人としてご意見ください ■ 他の方の意見も踏まえ、量を重視した積極的なご発言をお願いいたします ■ オンラインのため、ご発言の際には①ご所属、②お名前を冒頭に仰ってください ■ 本討議に関する詳細（発言者名・発言者毎の発言内容等）は公開されません ※本協議会の議事録は、概要のみ公開を予定

8. 閉会の挨拶